

イに行き、印度本土の鐵道と連絡する。

マニプール高原 Manipur (インド)

印緬國境、バトカイ山脈の一部高原地帯をいふ。ロクダク湖は同高原中の大湖である。

マニプール土候國 Manipur (インド)

ビルマ國境、アッサム州内にあり、ルンヤイ高地に沿ふ、面積二萬一千九百平方キロ、人口三五萬、棉花、茶、絹布を産し、チーク材その他の木材も産出する。住民はビルマ系のマニプール族である。

マニラ市 Manila (比律賓)

比島首府、ルソン島リナール州にあり、人口六二二、三六二(一九三九)市街の中心をパシヒ河が貫流してゐる。マニラ灣に臨み、マニラ港は四つの埠頭棧橋と軍用棧橋があり、巨船をも容れることが出来る。地震と颱風多く、地盤軟弱なため宏壯な建築は少く、民家は椰子葉葺が多い。住民はタカログ族多く商權は支那人と米人に握られ、ただ

土人とスペイン人との混血兒が上層を占めてゐる。ツツバン、バコ兩停車場があり、自動車(二萬一千臺)カロマタと呼ばれる馬車二千臺があり、また定期航空路もあつた。公園にはニュー・ルネタ、オールド・ルネタ、ウオーレス・フィールド、ハリソン、メハン、セント・ラサロ寺があり、歴史的建物としてセント・オーガステイン、セント・ドミンゴ、セント・フランシスカン、セント・ニコラス、セント・イグナチウス寺の舊教會堂、セント・トーマス大學がある。

マナール灣 Bay of Manar (インド)

印度半島の南突端とセイロン島並びに數個の小島よりなるアダムス・ブリツヂによつて圍まれた灣を稱し、同灣は眞珠の産地として世界的に有名である。

マヌファイ地方 Manufai dis. (小スンダ列島)

蘭領チモール島にあり、金を産出するところとして知られる。

マノクワリ Manokwari (ニュー

ギニア)

舊蘭領フェールフィンク灣の附近に臨みニューギニア首都である。人口約一千余人、一九三二年日本はここに本島最初の林業コンセッションを獲得した。わが國の南洋興發の事務所がある。ほか税關、郵便局、官營製材所、無線電信所、官廳、病院、學校、兵舎、牢獄等がある。汽船の定期寄港地、定期航空の飛行場もある。

マハーウエリ・ガンガ Mahaweli-Ganga River (セイロン)

セイロン第一の大河。中央山地に源を發しベンガル灣にそゞいである。全長三三五キロ。

マハ・オヤ河 Maha Oya River (セイロン)

セイロン島西岸にそゞい河。

マハカム河 Mahakam R. (ボルネオ)

舊蘭領、南東ボルネオ州東部を流れる河で、一名クタイ河とも稱す。源を島心に發しカブアス、バリト兩河に比すべき長河で、その流域に廣大な河谷盆地を發達せしめてゐるが、上流の舟運

はよくない。

マハデオ山脈 Mahadeo Hills (インド)

デカン高原北方の丘陵山脈。

マハーナンダ湖 Maha Nanda L. (ビルマ)

シエーポー縣の湖名。

マハーナツデー河 Mahanadi R. (インド)

デカン高原に源を發し東流してカタックを経てベンガル灣に注ぐ。

マヒヤ半島 Mahia Peninsula (ニュージーランド)

北島の東岬の南方。南緯三十九度十五分。東經百七十八度にある半島で、南方に向つて突出し、西方にホーク灣を擁してゐる。

マユ河 Mayu R. (ビルマ)

アラカン地區のアキヤブ縣を流れる河名。

マヨン山 Mayon (比律賓)

ルソン島アルバイ州にある火山で、標高二、七三四メートル、完全な倒扇形をなし、過去屢々噴火をなした。

マライタ島 Malaita Is. (太平洋諸島)

英領ソロモン群島中最も人口稠密で人口五萬、同島民はフィジー諸島に労働者として出稼ぎしてゐる。

マライバライ Malaybalay (比律賓)

ミンダナオ島アギドノン州、中央六三二メートルの高地にある町、人口一萬七千、州廳、兵舎、飛行場あり。

マラケイ島 Marakoi Is. (太平洋諸島)

英國直轄植民地、ギルバート諸島中の一島、長さ五マイル幅三マイルで、沿海一面に海綿の海で、良港はない。政廳駐在所は「ラソメアイ」部落にある。

マラツカ Malacca (マレー)

馬拉加。マレー半島の西海岸にあり、英國の舊海峡植民地名及びその中心都市名。面積六三八平方哩で、舊海峡植民地中では最大、人口約十八萬六千人、舊海峡植民地マラツカは歴史的にはシンガポールより遙に早く開拓された由緒ある地方であるが現在は振はない。

西暦一三七七年頃、ジャワのマ

ジャバイト王國の軍隊はボルネオ、スマトラを攻略した餘威を以てマレー半島に襲來、シンガポールを占領した。シンガポールの王イスカンダル・シヤアは海路マラツカに脱れてマラツカ王國を建設して附近に勢力を伸張してゐたが、十六世紀の始に至つて、ポルトガル人アルブケルクが同地を占領、同地は西歐人の東洋侵略の最古の一根據地となり、爾來一世紀以上マラツカはポルトガル人によつて維持せられたが、一六四一年にオランダ人がポルトガル人を驅逐、一七九五年に至るまでマラツカはオランダの領有地となつた。此間印度に據點を置いて勢力の伸張に努めてゐた英國は、一七九五年同地をオランダから奪取したが、一八一八年再び之をオランダに還附、更に一八二四年のロンドン條約の結果、改めてマラツカは英國の領有地となつた。

シンガポールから約一二〇哩、所謂マラツカ海峡の中程にあり市内人口四萬二千六百人であ

る。現在では往古の繁榮には似ず年々衰亡の一途を辿りつゝあるが、それ故この港が遠淺で大船の寄港に適しない爲である。市内にはポルトガル、オランダ時代の聖ポール寺院、クライスト・チャーチ、聖ヤヨン城砦、和蘭總督府、城門や古い支那人の墳墓等があつて、遊子の心を昔に還す。

今次大東亞戰爭に際して皇軍マレー部隊は昭和十七年一月十六日同地を占領した。

マラツカ海峡 Malacca (マレー)

マレー半島とスマトラ島の間に挟まれた海峡で、幅員僅に五六キロであるが、歐亞をつなぐ船舶は概ね此處を通過する。同海峡は極めて淺く水深五十尋を超へる所がない。マラツカ市は同海峡の要港として十六世紀初葉以來繁榮の古い歴史を持つが今は振はない。

マラバル海岸 Malabar Coast (インド)

西岸西カツツ山脈と海岸線により包まれた細長い平原地方の呼稱である。漁業が盛んで鱈、鱈

ホムフレット、鰯等年五・五萬トンの産がある。

マラボン Malabon (比律賓)

ルソン島リサール州、マニラ市北方八キロの地點にある町、人口三三、二八五(一九三九年)

マールムビツデー河 Murrumbidgee River (濠洲)

ニューサウスウエールズ州の南東部を流れるオーストラリヤ大陸第一の大河。マレー河の第二大支流で、マレー山の西側に源を發し、南東に進み、北轉し丘陵地帯をくぐり、西方に流れる。平野を西北西に流れ、ラクラン河を合せマレー河に注ぐ。流程二千百七十キロ。マールムビツデーとは美しい河の義であり、沿岸風光清麗、豊沃の地域を流走する。

河口八百キロの上流まで航行することが出来る。

マラン Malang (ジャワ)

東部ジャワ省バスマラン州南部スラバヤより九三軒、人口八萬七千の町で、整理された市街をもち陸軍駐在地、海拔僅か三八〇米であるが氣候温和なので、

別荘多く、スラバヤの週末避暑地になつてゐる。兵營、海軍療養場、學校、山地栽培試験所等がある。また附近の野菜、果實等を集散し、スラバヤに供給してゐる。

マラン高原 Malang hills (ジャバ)

東部ジャバ州バスマラン州マラン附近の高原地帯を指すが、西側と東側を多数の火山で境されてゐる。附近から果實、野菜、甘蔗、コーヒー等を産出する。

マ島 Mali Island (インド)

マルダイブ群島の主島、キングス島の項参照。

マリー島 Mary (太平洋諸島)

カントン島を見よ。

マリー Marree (濠洲)

南オーストラリア州、エイア湖盆地のエイア湖の東南湖畔に拓かれた町で、エイア地方の中心をなしてゐる。

南派から北部地に通ずる鐵道の一沿線驛で、列車は毎週二往復といふ頗る交通不便の土地で、従つて産業、文化の恩恵をうけない邊陲の地である。

人口は約四千人、エイア湖盆地は未開であり、旱魃や暑熱のため牧羊地、放牛場として開拓されても成功せず、現在ではエイア湖の灌漑をうけて小規模の羊等が飼養されてゐるにすぎない。

マリアナ諸 Mariana Islands (太平洋諸島)

一五二一年三月スペイン人マカリアーネスの発見といひ、後盜賊群島と呼ばれ、一六世紀にはペルー、フィリピン間の航行船舶の寄港地で、スペインは一五六五年正式に領有を宣した。一八九九年米西戦争で米國はスペインから百萬ドルで買収する交渉してゐたが、當時既にドイツがスペインとこの交渉を進めてゐたので、米國はグアムのみを領有することとなつたものである。そして一八九九年ドイツはマリアナ、カロリン兩群島を二千五百萬ペセタで買収に成功したのである。

この群島は西方に彎曲した弓狀の火山列島で、全島總計は千百四十平方キロ、グアム島を除け

ば六百廿六平方キロである。群島を南方島列と北方島列に分てば、南方列島では火山が終熄し地盤の昂騰で、島上火山岩の高所に珊瑚礁が附着してゐるのが見られる。北方列島には珊瑚礁なく、島上孤立には連繫せる火山をみ、活火山はバガン、アツソングソング及ウラカスの三島にあるのみ。島民はチャモロ族がある。輸出品はコブラその他である。

マリ・カ Mali ka (ビルマ)

イラワダ河の西方の主流で、ブータオ地方カムテイ・ローン溪谷に源を發し、イラワダ落合で東方主流マイ・カに合流す。

マリコロ島 Mallicolo (太平洋諸島)

別名マレクラ島。ニューヘブリデス諸島中の一、長さ六十マイル、幅廿八マイル、エスピリツサント島の東南、土地は比較的肥沃であるが、住民は文化程度の極めて低劣な種族である。

マリタ Malita (比律賓)

ミンダナオ島ダヴアオ州にある町、人口三〇、七六六(一九三

九年)

マリーボロ Maryborough (濠洲)

ヴィクトリア州メルボルンの西北約百キロの地點にあり、メルボルンから鐵路でジーロング、ハミルトン、エチユカへ行く中間の町である。

人口は五千七百五十人(一九三九年調)附近一帯は大麥、小麥の産出多く、牧羊も盛んである酪農業も殷盛を極めてゐる。東部近郊には野菜の栽培も行はれてゐる。金は北東部近郊より多量に産出する。

マリーボロ Maryborough (濠洲)

クインズランド州東海岸にあり、大サンデー島と相對し、亞熱帯に屬してゐる。人口は一萬四千四百三十七人(一九三九年調)町の背部に礦物資源多く、水成岩より成る大地域に恵まれてゐる。附近のジッピー鐵山から銅、金、鐵、石炭等を産出する。

町には熱帯植物が繁茂し、殊に甘蔗の栽培が盛んで製糖事業も

盛んである、バナナ、パイナップルの産出も多い。

マリリ Malili (セレベス)

セレベス州ボネ灣東北岸即ちマタナ湖附近にあり、鐵礦の埋藏ありと稱せらる。別稱ラロナ。

マリンドケ州 Marinduque (比律賓)

ルソン島南部マリンドケ島を中心にサンタ・クルス、マニウヤシ等廿二の島嶼より成る。面積九三六平方キロ、人口八一、七二九(一九三九年)住民はタカログ、ヴィサヤ兩族、牧畜盛んで少量の金、銅、亜鉛を産す。

在留邦人一七(一九三九年)

マリンドケ島 Mariuduque (比律賓)

北緯一三度、東經一〇一度、面積九二二平方キロ、全島に金、銅、亜鉛を産す。

丸島 (新南群島)

新南群島の項参照。

マルダ Maria (インド)

ベンガル州、マハナダ河に沿ひ、絹織物、製糸業の中心地。

マルダイヴ諸島 Maldive Islands (インド)

印度半島西南四八〇キロ、アラビア海上の珊瑚群島で、南緯〇後四五分乃至北緯七度六分、東經七二度三分乃至七二度四八分の間に横はる。マリ—島(キングス島)を主島とし、コ、ア、コブラを産す。總面積二九八平方キロ、人口三萬である。

マルタブラ Martapoera (ボルネオ)

南東ボルネオ州、バンヂエルマシ市より東方五〇軒、近郊は東洋唯一のダイヤモンド産地である。同地には邦人のゴム園もある。

マルタバム Martaban (ビルマ)

ベグ—マルタバム線の終點、サルウイン河を隔てモ—ルメンと對す。曾てタライン王國の首都であり、古い商業中心地と名高く、又ここから産出するマルタバム壺(ベグ—壺)は十四世紀以來有名である。人口三萬。

マルタバム灣 Gulf of Martaban (ビルマ)

印度洋ベンガル灣に注ぐイラワヂ河の三角州とビルマのシャン高地が延びてゐる馬來半島によ

つて擁されてゐる、灣にはモ—ルメン、マルタバム、ラングーンがあり、サルウイン、シツタン、ラングーの諸河は、これにそゝいでゐる。

マルタブラ河 Martapura (ボルネオ)

舊蘭領、南東ボルネオ州バリド河支流、バンヂエルマシ港がある。

マルタブラ地方 Martapoera (ボルネオ)

舊蘭領ボルネオ島東南ボルネオバンヂエルマシ東方にあり、ダイヤモンドを産して有名であるが、同地方のダイヤモンド採取は原始的方法で、産出の歴史は古いが額は貧弱である。

マルデン島 Malden Is. (太平洋諸島)

南緯三度五八、西經百五十五度に位する。長さ十二マイル、幅六マイル、面積卅五方マイル、クツク島に近く少量の磷礦石を産出する。この島に古代民族の文化を表はすピラツミドがある。學者はイ—スター島及びペ—ル—のインカ帝國の巨石文化と

關係があるといつてゐる。大古のこの島は一大墓場であつて死人があつた時には小舟に屍をのせてこの島へ來り、ピラミツド型の石段で屍を焼いてその下に埋めたものであるといはれてゐる。英國植民省直轄植民地となつてゐる。

マルヅ河 Mardu (ボルネオ)

舊英領、ボルネオ北西海岸マルヅ灣に注ぐ河。

マルヅ灣 Mardu (ボルネオ)

舊英領、北ボルネオ北東海岸にあり、南北二八哩、水深三乃至二十尋の灣。東海岸一帯は古々椰子の適産地であるが、同灣地方一帯は殊にその栽培に適する。また石炭産出地もある。古昔にはイラメン海賊の據點であり、英國も再三その統治に苦汁を嘗めた。

マルバラ地方 Marubara (ニュージ—ラン)

フ南島北東部地方をマルバラ地方と稱する。

マレ—半島 Malay (マレ—)

支那海と印度洋の支灣ベンガル灣の間に挟まれた印度支那半島

の分岐半島。マレー半島に廣狭二義あり、廣義のマレー半島はバンコック灣岸のタイ國領を基部とする千五百軒の大半島であるが、狭義では舊英領マレー半島を指す。マレー半島は海峡植民地（シンガポール、ピナン、マラツカ）、マレー聯邦州（ペラ、スランゴール、パハン、ネグリスマランの各州）、マレー非聯邦州（ジョホール、ケダー、パーリス、ケランタン、トレンガムの各州）に分れてゐたが、大東亞戦争の結果、日本の領有する所となり、舊政治區劃は之を廢止した。産物としてはタイ領、舊英領マレー領とも錫、ゴム、コブラの世界的多産地である。

マレー聯邦州 Federated Malay States (マレー)

ペラ(デインデインスを含む)、スランゴール、ネグリ、スンプラン及びパハンの四州を包含する。嘗ての英國のマレー半島植民地、面積二七、五四〇平方哩、人口約百七十一萬三千九十六人。一八九五年英國指導のもとに聯

邦を組織、一九〇九年聯邦議會を構成した。

舊統治機構に就いて述べれば、マレー聯邦は聯邦條約によつて結ばれた英國の保護領で、聯邦の各州には獨立の君主が存在したが、君主とは名のみで宗教及習慣に關する問題を除いては行政上の實權は英國知事の掌中にあつた。

最高權力者は總監(High Commissioner)と言はれ、海峡植民總督の兼務であつた。立法機關として聯邦議會(Federal Council)と州議會(State Council)があり、中央行政機關及び各州の地方行政機關並びに司法機關を有す。聯邦中央政府はネグリ、スンプラン州のクアラ・ルムプールにあつた。大東亞戦争の結果マレー半島は日本の領有地となり、聯邦制は廢止された。

マレー非聯邦州 unfederated Malay State (マレー)

ジョホール、ケダー、パーリス、ケランタン、トレンガム、ブルネイを包含する嘗ての英國のマレー半島植民地(ブルネイのみ

は北ボルネオ)面積五三、一九六・五平方哩、人口四百三十八萬五千三百四十六人、非聯邦州の最高統治權は非聯邦州總監の掌中であり、各州の地方行政は土侯たるサルタン乃至ラジャの司る所であるが、その實權は英人顧問の手にあつた。中央行政地方行政ともに聯邦州と大同少異である。大東亞戦争の結果マレー半島は日本の領有地となり、聯邦州、非聯邦州の區別は廢止された。

マレー群島 Malayan Archipelago

東印度諸島およびフィリッピン群島を加へてかく稱する。主なる島および諸島は次の如きものがある。スマトラ、ジャバ、ボルネオ、セレベス、モルツカ群島、小スンダ列島、フィリッピン群島である。

マロス Maros (セレベス)

セレベス州マカッサル北方の小邑、コブラを産す。

マロロス Malolos (比律賓)

ルソン島中部ブラカン州の西南部にある町、マニラ市より四五

キロで汽車を通ず、人口三三、三七六(一九三九年)ブラカン州廳所在地。軍司令部あり、一八九七年アギナルド獨立政府を組織したところとして有名である。

マンガロール Mangalore (インド)

マドラス州と西海岸にあり、人口六萬、カーリーカット、コーチン等とともに開港場である。胡椒、椰子皮製品、肉桂、白檀を産し、又タイル、米、魚肥、鹽魚の産出もある。

マンガリ島 Mangoli (モルツカ群島)

群島東西部スラ諸島に屬する主島で長さ一〇軒、面積三〇二五平方軒。

マンダレー Mandalay (ビルマ)

人口十八萬三千。市域、カントンメン合して二五平方哩、一八五九年ミンドン・ミン王がアマラプラから遷都したのに始る。一八八五年迄同王朝の首都であつた。現在ここに住む大部分はビルマ族である。ビルマ王朝時代の王市はその舊型を存し、商

業地区は河岸に沿ってアマラプ
ラまで續いてゐる。ビルマ個有
の工業である大理石、滑石の彫
刻はすべてこゝで行はれてゐる
イラワダ河左岸に臨み、マンダ
レー農業大學(一九三八年創立)
ラングーン大學豫備門がある。
河岸より三哩の地點にミョーと
呼ばれる方形城市があり、各邊
一哩四分の一で二六呎の高さの
煉瓦の城壁で圍まれてゐる。そ
の外に堀があつて、十二の門か
らそれぞれ橋が架けられ、舊王
宮が中心に今なほ存してゐる。
上ビルマ併合の侵略者ダフア
リンの名をとつてフォート・ダフ
アリンと呼び、カントンメント
の中心部をなし兵舎、練兵場、
文武官官舎がある。
市の北方にマンダレー丘がある
高さ九五四呎、昔、同丘上にマ
ンダレー宮殿を指してゐる佛像
を祭り、同市の守本尊たらしめ
たが、一八八五年火災により焼
失した。又市の南方に有名アラ
カン・ハゴダがある。その他歴
代の王、王后により建立された
寺院が點在してゐる。

**マンダレー管區 Mandalay (ビル
マ)**

マンダレーを首都とするビルマ
の行政区劃。マンダレー、チャ
ウセ、メイチイラ、ミンチヤン、
ヤメテイン諸縣を含む。

**マンダレー・ヒル Mandalay hill
(ビルマ)**

マンダレー市の北東部にある小
丘で、以前丘上に木造の寺があ
つたが、一八八五年の後に焼失
した。その後新しい寺が建立
された、丘下より屋根で覆はれ
た階路がある。同寺はビルマー
の新らしい寺で方錐形の塔を中
心として、中央に大証石の佛像
が安置されてゐる。

**マンガラヴァ島 Mangarawa Is-
lands (太平洋諸島)**

ガンビール諸島をみよ。

**マンガイア島 Mangaia Is. (太
平洋諸島)**

英領クック諸島中第二の島、同
諸島中最南端である。火川島で
周圍卅マイル、面積七十平方キ
ロ、住民は千五百である。

**マンシナム島 Mansinam (ニュー
ギニア)**

ミの部

ミアガオ Miagao (比律賓)

比島バナイ島南部にあり、人口
三〇、一八〇(一九三九年)島
内一の壯麗な教會堂あり。

ミエー Mie (ニューギニア)

舊蘭領、西部フェールフイック
灣南西にあるワアンダメン半島
の西岸の部落。バプア土人宣教
師兼教師養成所があり、マノク
ワリに次ぐ美しい町。

ミ・オヤ河 Mi Oya (セイロン)

セイロン西岸アタラム附近でア
ラビア海に入る。

**ミサミス・オクシデンタル州 Mi-
samis Occidental (比律賓)**

ミンダナオ島中心部にあり、面
積八五〇平方キロ、人口二〇九、
四四五(一九三九年)住民はヴ
イサヤ族の他に少數の回教徒あ
り、産物は麻、木材、コブラ、
コーヒー、在留邦人三三(一九
三九年)

**ミサミス・オリエンタル州 Mis-
amis Oriental (比律賓)**

ミンダナオ島中央にあり、面積
二、五〇〇平方キロ、人口二一

舊蘭領、西北部マノクワリ港港
口にある島で、風波をさけマノ
クワリ港を保護してをり教會、
學校等がある。

**マンセラ島 Mansela (モルツカ
群島)**

群島南部セラム島にある山、標
高二〇〇〇米。

**マンダル灣 Mandar B. (セレベ
ス)**

セレベス州西岸中央部の灣、マ
ヂュヌ港がある。

**マンベラモ河 Manberamo R.
(ニューギニア)**

舊蘭領北部を流れる河で、源を
中央山脈に發し當領北側の大部
分を流れ、流域は三萬七千平方
キロに達する。東印度第一の大河
である。河口より二百數十キロ
まで小型汽船の運航が可能であ
る。

マンリン Mōng Lin (ビルマ)

クントン土侯國にあり、メコン
河に臨み印度支那との交通の要
地である。

五、二六四（一九三九年）産物は麻、石炭、コブラ、鹽、硫黄、木材。在留邦人一三三（一九三九年）

ミサミス港 Misamis (比律賓)
ミンダナオ島ミサミス・オクシデンタル州パンギル灣にあり、人口三六、八六五（一九三九年）小棧橋、飛行場あり。

ミシマ島 Misima Is. or St. Aignau (太平洋諸島)
バブア西南地區、ルイジヤド群島中の重要な島で、同群島中のリナード諸島の北西にあり、全島殆ど山地で最高峰は三千四百呎、西南地區の政廳所在地ブヴァカオイヤはその首都である。金を産し金坑まで小鐵道があり、全島人口千五百、メソジスト教會の布教所各地にあり。

ミソール諸島 Misool (モルツカ群島)
群島南群に屬しニューギニア島西岸近くにある島で、同諸島中の北西にあるカナリ諸島はカナリ油を産す。しかして同島は行政的にはアンボイナ州に屬する。

ミチエロ島 Mitiero Is. or Mitiero (太平洋諸島)
ニュージーランド委任統治領クック諸島の一島で人口三百。

ミチナー Myitkyina (ビルマ)
サガイン管區の同名縣の主邑。ビルマ鐵道の北端に當り、ラングーンから七二九哩、マンダレーから二十二時間を要する。住民はカチン族が多く人口十七萬

ミト Mij-tho (佛印)
美湫。佛印交趾支那の一州、面積二千三百平方キロ、人口三十八萬五千。

ミツタ Myitta (ビルマ)
タヴオイ縣、タヴオイ市東方の一邑でタイとの交通路にある。昭和十七年一月十九日皇軍占領。

ミツチエル島 Michel Is. (太平洋諸島)
リクレンをみよ。

ミツドウエー島 Midway (太平洋諸島)
ハワイ諸島の西北にある珊瑚礁島であり、僅かに西方に入口がある環狀島で、總面積四・〇二二五平方キロの小島である。環

狀の珊瑚礁中に鹹湖をはさんで東島（長サ一・五キロ、幅〇・七五キロ）及び西島（長サ二・八キロ、幅一・六キロ）あり、西島には桑港よりホノルル經由グアム島に通ずる海底電信の中繼所あり、無電塔、空港がある。従つて軍事上飛行艇、潜水艇基地として使用されてゐる。

ミツドサヤツブ Midsayap (比律賓)
比島ミンダナオ島コタバト州にあり、人口二三、〇三三（一九三九年）附近から石灰石を産する。

ミツトフオード灣 Mitford (ボルネオ)
舊英領、北ボルネオのベンギ島の南岸にある小灣。

ミドナポール Midnapore (インド)
ベンガル州、同名地方の首邑。附近にはサマーセツト炭坑がある。人口七千。

ミナハサ高原 Minahasa hills (セレベス)
メナド州東北部半島の先端部をミナハサ地方と稱し、同地の山

岳地帯をミナハサ高原と云ふ。
ミナハサ地方 Minahasa (セレベス)

メナド州北部東方突出半島の先端部分で、セレベス島の四十分の一に當る。ミナハサ人が住む。人口二〇萬、東印度諸島中でも有数の開化地で、長い綺麗な村落をつくり、學校を設け、服装も歐式である。陸田、水田を耕し、コーヒー、肉荳蔻、コブラを輸出し牧畜も盛んである。

南小島 (新南群島)

新南群島の項参照。

南二子島 (新南群島)

新南群島の項参照。

南センキ土侯國 South Hsenwi (ビルマ)

シヤン聯邦州、北シヤン州の一土侯國。面積二千四百平方哩、九十六の村より成る。

南シヤン州 Southern Shan States (ビルマ)

シヤン聯邦州の項参照。

南アルプス Southern Alps (ニュージーランド)

南島分水山脈で、西方に偏して北部より南部に連つてゐる山脈

で、一萬フィートを越えるもの十七の多きに達し、クツク山が最高で一、三四九フィートである。以北にチンダル山、ホワイコムス峰、ホツクステツター山等があり、以南には少しく離れてカストル山(二、五二六メートル)、アスピリング山(三、一一二メートル)、アーンスラウ山(二、八四六メートル)等の諸峰が並び、高原中に屹立し、数多の氷河や河川が高原を切開し、あたかもノールウェー南部のフィヨルドの縞相を呈してゐる。

南ブラサク運河 Prasak South Canal System (タイ)

タイ國のバンコック、アユチャ間の東方一帯の低地、ランシット地方にある灌漑運河で、英人により計畫され、一五七八萬銖の巨費と六年の日子を費して一九二二年竣工した。このため同地方一〇萬ヘクタールの地域は毎年二回の収穫が可能である。

ミムブリー地方 Mingburi (タイ)

タイ國バンコックに近い地方で附近は米作地帯として有名。

ミヤワディ Myawadi (ビルマ) アムハースト地方タイ領との交通の要衝。

ミュレル山脈 Müllre Mts. (ボルネオ)

舊蘭領、西ボルネオ州、カブアス河上流南側一三〇—一四〇〇米の高度の安山岩を主とする火山地帯であるが、現在は活動してゐない。一八二六年獨逸人探検家ミュレルがサマリオダからマハカム地方へ横断中この山中で殺害されたのに因み命名された。

ミラゴロス島 Milagros (比律賓) 比島マスバテ島南岸にあり、人口二萬、附近の山に銅及びマンガンを産す。

ミーラツト Meerut (インド) 聯合州、デリーの東北約六〇キロ、人口一四萬の商業都市で、附近に産する小麦、亞麻、棉花の取引市場である。

ミリ Miri (ボルネオ) 舊サラワク王國北部西海岸のバラム河口に近い新興都市、背後に油田をひかへてシンガポールとの間に定期航路の便がある。

ミリ油田は同島最古の油田で一九二〇年に始めて發掘された。大東亞戦争に際し皇軍は十二月末同地に上陸占領した。

ミルザプール Mirzapur (インド) 聯合州、ヒンズー教徒の聖地ベナーレスの西南約六〇キロ、ガンヂス河の右岸に位し。人口六萬。カーベツト、眞鍮器具の製造で知られ、又附近からラツク砂岩の産があるのでそれらの工場が多い。

ミルマ灣 Miue灣 or Tauwava Bay (太平洋諸島)

バブア東部地區、ニューギニア最南東端の灣で、灣の奥行廿哩奥地に金の産地あり。

ミルジュラ Mildura (濠洲) ヴィクトリア州の北西部東經百四十二度十分にある町で、メルボルンの北西五百七十キロに當り、附近にマレー河が流れてゐる。

人口六千九百五十人(一九三九年調)羊毛の集散地である關係上毛織物工業が發達してゐる。又小麦の栽培も廣く行はれ、果樹栽培も盛んで、果物包装場、

貯蔵場及びオリーフ油工場があり、マレー河流域一帯は大飼羊地である。産業の町として著名である。

ミルフオードサウンド Milford Sound (ニュージーランド)

南島南部南アルプス連峰が海に接するところは斷崖絶壁となり沿海は出入多く、入江を形成し、壯觀を呈し景勝比なし。この他附近にジョージ・サウンド、ダウトフル・サウンド、プレツクシー・サウンドダスキー・サウンド等あり。

ミンダナオ島 Mindanao (比律賓)

比島第二の大島で、面積九五、五八三平方キロ、人口一、九八〇、五六〇、氣候は湿度高いが高原は健康地で、颱風が少いため麻栽培に適してゐる。アグサン、ブキドノン、コタバト、ダヴアオ、ラナオ、ミサミス・オクシデンタル、ミサミス・オリエンタル、スリガオ、サンボアンの九州に分れ、ダヴアオ、サンボアンの兩市がある。産物としては麻、木材、金、石炭

硫黄、鐵等で在留邦人一萬五千で、大東亞戦終結後の邦人發展が豫想される。

ミンドロ州 Mindoro (比律島) 比島第七位のミンドロ島と附近の小島嶼より成る。面積一〇、一七三平方キロ、人口一三〇、三六八(一九三九年) 住民はタガログ、ヴィサヤ、イロカノ族のほか少数の蠻族あり、産物は米、椰子、砂糖、玉蜀黍、甘蔗、果實、ニツバ酒、木材、金石炭等。在留邦人四〇(一九三九年)

ミンドロ島 Mindoro (比律賓) ミンドロ州中の第一の巨島で面積九、八二六平方キロ、ミンドロ州は一〇、一七三平方キロで人口一三、〇三六八人、住民はタガログ、ヴィサヤ、イロカノ等、金を産するほか鑛産としては石炭、大理石、石盤、産物は米、椰子、砂糖、甘蔗、玉蜀黍等。

ミンゲー河 Myinge River (ビルマ) イラワチの分流でマンダレー下流にて本流に合す。別名ドクマ

ワディー、又はナムトウ河といふ。ミンゲーの名は小河といふ意味であるが、事實は大河でシアン州の西方を貫流し、木材流搬に利用される所大であり、ナムサン瀑布といふ有名な瀑がある。同河は南方からパンラウン河、ゾーチ河を合流す。

ミンヂヤーン Myingyan (ビルマ) 人口二萬五千、イラワチ河左岸マンダレーの下流八〇哩にあり商工都市であり、幾多の木綿工場がある。メージーより出る支線とミョータを經由する一線を以てラングーン=マンダレー線に結ばれる、附近には棉花の産が多い。

ミンダン Myingun (ビルマ) マンダレーの上流九哩の地點にあり、ミンダンの大吊鐘で有名である。鐘は一七九〇年の鑄造になり重さ八七噸、高さ一二呎、口径十六呎である。又附近にはホードーバヤ王が計畫したといふ未完成の佛塔があり、塔の基底四五〇呎平方高さ一五五呎で現存残存營造物中最大のもの

いふ。付近には佛塔が多い。
ミンガラドン Mingaladon (ビルマ) ラングーン郊外、飛行場がある。

ム の 部

ム一河 Mu River (ビルマ) イラワチ河の支流、イラワジ本流と平行して南流し、サガインの下流ミンムーで右方より合流す。灌溉に供せられるところ甚だ大で、幾千エーカーの米田を潤はす。

ムア河 Muar (マレー) マレー半島ジョホール州西海岸に注ぐ河、上流をパロン河、ラビス河といふ。

ムア港 Muar (マレー) マレー半島ジョホール州西海岸の港市で、同港とシンガポールとの間には沿岸船の往復があるが、渡洋船の出入は不可能である。

ムアラエニム Moearaenim (スマトラ) バレンバン州ムシ河支流ルマタ

ン河上流にある奥地物資の集散地。バレンバンとは鐵道、汽船の交通が頻繁である。

ムアラサバ Moearasabak (スマトラ) チャンピ州ハリ河分流の河口にある港。

ムアラマン Moearaaman (スマトラ) ベンクレン州クタウン河上流中心地。

ムアロラブ Moearolaboeh (スマトラ) 西海岸州南部インドラブラ山北部山地の街で、コーヒー、茶、規那を産出する。

ムアロブリテイ Moearobeliti (スマトラ) バレンバン州ムシ河上流、人口約五千人。

ムアン・ファン Muang Fang (タイ) タイ國とビルマとの國境近くにあり、石油を産出することは古來より傳へられてゐるが、踏査困難のため詳でない。

ムアン・ロエイ Muang Roiet (タイ) タイ國コーラート高原西北にあ

り、有名な錫鑛床あり。

ムカ Muk (ボルネオ)

舊サラワク王国、ムカ河の流域にある地方的都市、附近一帯はサゴ椰子の栽培が盛である。

ムカ河 Muka (ボルネオ)

舊サラワク王国の河川、全長約一二〇哩。

ムサウ島 Mussau Is. (太平洋諸島)

東北ニューギニア、マティアス諸島の主島で、ラボンカイ島からイサベル海峡を隔ること五十五哩。

ムシ河 R. Moesi (スマトラ)

パレンバン州中央部の河川で、チャンピ河に次ぐ大河で、河口より九〇キロの地點にパレンバンがあり、河舟運が發達してゐる。

ムシュ島 Mushu Is. (太平洋諸島)

東北ニューギニア、カイリル島の南東カイリル島に比し小さい。

ムダ河 Muda (マレー)

マレー半島ケダ州南部にあり同州西海岸に注ぐ小河。

ムーテイス山 Moetis (小スンダ列島)

小スンダ列島チモール島、舊蘭領にある山で標高二三六五米。

ムトツク港 Muok (太平洋諸島)

我南洋委任統治領ボナベ島の南側ムトツク島の前面の港。

ムラウイ河 Melawi (ボルネオ)

舊蘭領、西ボルネオ州西部カブアス河支流。

ムラウイ谷 Melawi (ボルネオ)

舊蘭領、西ボルネオ州カブアス河支流、ムラウイ河上流域の豁谷で、マティ高地とは千米からの絶壁となつてゐる。

ムラトウス山脈 Mertoes M. (ボルネオ)

舊蘭領南東ボルネオ州、島心よりヤヤ南を起點に弧を描いて南下する山脈で、セラメン岬に終る一部石炭岩からなる。

ムルン河 Moeroeng (ボルネオ)

ボルネオ島南東部ボルネオ州パリト河の西方を流れてゐる河。

ムリア山 Moeria M. (ジャワ)

中部ジャワ省スマラン州東北部の半島にある火山。

ムルシダバード Murshidabad (イ

ンド)

ベンガル州ガンヂス河の支流バギラチ河畔にあり、鐵道四通し水陸の便よく、もとベンガル州の首都であつて、人口一萬三千、養蠶、絹織物の産がある。

ムールタン Multan (インド)

パンジアーブ州、ラホール以西鐵道で八時間を要す、人口一ニ萬、西部パンジアーブ第一の都市で、史蹟に富み、回教寺院が多く、附近から小麦、棉花を産し羊毛製品、陶器、銀細工、絹織物の製造が行はれてゐる。

ムンガラ Menggala (スマトラ)

州南部トウランバワ河上流の港で、小汽船の運航が出來て、胡椒その他林産物を輸出する。

ムンクワゴ河 Mungkwago (ボルネオ)

舊英領、北ボルネオのベナンガ河の一支流。

ムンコカ山脈 Mengkeka (セレベス)

島東南半島の脊梁をなす山脈。

ムンタ Moonta (濠洲)

南オーストラリア州の都邑。スベンサー灣沿海。アデレードの

北北西鐵路二百十六キロ、一八六一年以來の銅産地。人口約五千である。

ムンタウエイ諸島 Mentawai Is. (スマトラ)

海岸州西方に連なる諸島でシブルート、シブーラ島、北バカイ島、南バカイ島等からなる。

ムンテイラン Moenilan (ジャワ)

中部ジャワ省ケドゥ州東部ヤクタヤカルタよりマゲランに通ずる輕便鐵道の驛で、ボロブドール佛蹟への下車地。

ムンドウ Moendoek (小スンダ列島)

バリ島にあり、プーヤン湖やタンプリンゲン湖へのハイキングの基點である。附近のゴブログ村には立派な寺院がある。

ムントク Moentok (スマトラ)

パンカ島西北岸の海港。

メ の 部

メイウルガンチ Mei-ul-Ganji (インド)

オリッサ州、鐵礦の産地、年産九〇萬トン。

メウラボー Meulaboh (スマトラ)

アマチュー州西岸の港。

メオスアウリ島 Meos Aeri (ニューギニア)

舊蘭領、フェールフィンク灣西岸にある島、メオスワール島とも云ふ。

メオスワアマル島 Meoswaar (ニューギニア)

舊蘭領メオスアウリ島の別稱。

メダナ河 Meghna R. (インド)

ブラマプトラ河の支流、カーシジャイントラ兩高地に源を發し南流してガンダス・デルタを作りつつチャンドプール附近で本流に入る。

メークロン Meklong (タイ)

タイ國メークロン河の河口にあり、漁業の中心地。

メコン河 Mekong (佛印)

メコン河は佛印最重要の河で源

を西藏高原に發し、雲南、上緬甸を貫いてラオス、タイ國境を形成し、カンボジアの首府プノンペンを経て南支那海に注ぐ。延長四千六百キロ、世界第十位の大河である。佛印のみで二千六百キロあるが、上流は急流があり、船舶の運航をさまたげる。クラチエまで二百キロは三百トンまでの船舶を通航せしめ得る。河口に廣大な三角洲を形成し、サイゴン米として知られる世界屈指の米産地を展開してゐる。

メスジ河 Mesoeji R. (スマタラ)

パレンバン州とランボン州境をなす河名。

メニステル・コルネリス Mester Cornelis (ジャバ)

パタビヤの近郊であるが、行政的には外港。タンゲヨン・ブリオクとともにパタビヤ市に包括される。

メタラニム港 Metllanim (太平洋諸島)

我南洋委任統治領ボナベ島の東側にあり、巨船の入港しうる良港。付近に城趾あり。

メダン Medan (スマトラ)

東海岸州の首府で人口七萬、かつて日本領事館が置かれてゐた同地には科學的農園經營で有名なアフロ協會、同試験場、テリ煙草試験場がある。また附近一帯の農産物の大集散地であり、商業地でもある。オランダ航空會社は毎週往復二回ここを基點とする定期航空路を開いてゐた。メダンの主なる外港はベラワンで二十軒の地點にある。

メダン島 Medang (スマトラ)

東海岸州カンバル河口にある島。タンゲヨンメダン島とも云ふ。

メデイニラ島 Medinilla Is. (太平洋諸島)

マリアナ諸島中の一、玄武岩で蔽はれた火山岩島で、高さ海拔約廿メートル、岸は絶壁で、高地には叢林多く鳥糞堆積す。

メートランド Maitland (濠洲)

ニューサウスウェー州の一都市。ニューカッスルの北西二十三キロ。ハンター河の右岸に沿つてゐる。農産地の中心。煉瓦、陶器を産出し、ニューカッスル炭田が近在にある。美術學校も設

立されてゐる。人口は一萬一千七百である。

メナド Manado (セレベス)

メナド州の首府でミナハサ第一の良港。トンダノ河河口に臨み背後地としてセレベス島北部、ミナハサ、サンジイル、クロード島を控へ、コブラ、珊瑚、肉荳蔻香料の輸出が盛んである。海拔二五米。年平均気温二四度六分。

メナム河 Menam chao Phya (タイ)

メナムとはタイ語で河を意味する。メナム河の本名はメナム・チャウ・パヤ Menam chow Pya (偉勳ある河)であるが、今日では河の代表者として一般にメナムと言へば同河をさす、タイ國の最大河で全長四百餘哩、その長さに於て位置に於て經濟的價値に於て名實共にタイ國の生命であると言つても過言ではない。本河の上流は四大支流からなつてゐる。最西の河流は東經九九度の國境に發源するメー・ピン河で、北緯一七度餘に於て東岸に小流メーウンを合して東

南流してパークナムホーに至る。

その東方國境に發源し、ビー・パン・ナム山系中及その通側を並流する、メー・ヨム及メー・ナーンの兩河はパークナムホーに至つてメー・ピン河と合流してメーナム・チャ・オブラヤーと改名される。

メーナム・チャオ・ブラヤーはデルタの北部頂點に當るチャイナードで南方に走る分流を生じるが、同分流は舊本流であつたらしく、分岐點附近をクローン・オカーム・タオ、その下流をメーナム・スパン、南部鐵道の横斷する附近をメーナム・ナコーン・チャイシー、河口附近はメーナム・タンチーと夫々呼ばれる。

メナム河本流はチャイナート市を横ぎり、間もなく西にメーナム・ノーイを東にメーナム・ロブアリを派出して東寄りに並行南流し、アユチャ附近に合流してシヤム灣に注ぐ。猶メーナム・ロブアリはメーナムバーサーをアユチャー附近で合して

る。斯くの如くメコン河は多數の支流を合するのみならず、無数の運河によつて諸支流及び他の水系と連絡してゐるので、その流域は殆んど北、中部タイの全地に亘り、その流域には廣大な平原が開けて、世界有数の米作地を形成してゐる。のみならず流域の住民に飲料水を給し、交通上では國內交通路の幹線として偉大な役割を果し、メー・ヨム、メー・ナーンの兩河は吃水大なる艀船も航行可能であり、パークナムホーの上流一九〇軒迄は大吃水の汽船が遡江し得るし、バンコック以南は一千五百噸以下の航洋船が自由に出入し、メーナム・バーサクの下流四〇軒は小汽船の航行を許し、全河米チーク材等の輸送に役立つ等、タイ國經濟文化の上に貢獻する所非常に大である。メナム河の定期的な氾濫はナイル河と對比せられて有名である。

雨季には河水が著しく膨脹し、上流に於ては九月末から四十日間、下流に於ては十月を中

心に三、四十日間、流域の低濕地一帯〇・五乃至一米の水深を以て氾濫する。その氾濫の時期及び増水量は極めて規則的である。此の氾濫は豊富な水と泥土をもたらし、同國の米作は一にかゝつてこの氾濫にあると云つても過言ではない。

メナム・イン Menam Ing (タイ)

北部タイ國の東北部を灌溉する河で、メーコン河の一支流。メコン河の増水する時はメナム・イン河には上流三十軒まで逆流が生ずる。

メナム・コク Menam Kok (タイ)

北部タイ國の東北部を貫流する河でメーコン河の一支流。

メナム・クラ Menam Kra (タイ)

タイ國領マレー半島西岸に注ぐ河、ビルマとの國境の最南端をなし、クラ運河問題で有名である。

メナム・コンガ Menam Kongka (タイ)

タイ國領、マレー半島にある小

河。

メナム・サケーオ Menam Sak-
o (タイ)

タイ國にある河、メナム・バーン・バ、コン河の上流の名。同河の項参照。

メナム・スパン Menam Suphan
タイタイ國中部にあるメナム河の一分流の名、メナム河の項参照。

メナム・ソククラ Menam Son-
gkhla (タイ)

タイ國領マレー半島東海岸にあり、沿岸に岩鹽を産出する。

メナム・ソクラーム Manam
So: gkram (タイ)

東北部タイ國の東北部を東流する河で、メーコン河の一小支流。

メナム・ターチン Menam
Tachin (タイ)

メナム河の一分流メーナム河の項参照。

メナム・チャウバヤ Menam
Chau Paya (タイ)

メーナム河の本名メーナム河の項参照。

メナム・ナコーン・ナーヨク

Meanin Nakorn Nayok (タイ)

タイ國にあり、メーナム・パーン・バーコン河の一支流政府の灌溉計畫で有名である。

メナム・ノイ Menam Noi
(タイ)

メーナム河の一分流メーナム河の項参照

メナム・パークチヤン Menain Pakehan (タイ)

タイ國領マレー半島西岸の河メーナムクラの別名。

メナム・パーサク Meam Pasak (タイ)

メーナム河の支流メーナム・ロブリーの大支流で延長三二〇アユチャー附近でメーナム、ロブリーに合流する。

メナム・バードーン Menam Bardon (タイ)

タイ國領マレー半島にある小河北緯八度附近に發源し北流してバードーン灣に注ぐ。

メナム・パーンバ・コン Menam Bang Pa Kong (タイ)

タイ國の東南部を灌溉してタイ灣頭の東北隅に注ぐ河、北緯十三度のカムボヂヤ國境附近に發源し上流をメーナム・サケーオ、

中流をメナムブ・ラーチーン、と言ふタイ國政府の灌溉計畫で有名なナコーン・ナヨーク河はナコーン・ナヨークで附近から南流してメーナム・パーン・バーコンに注ぐ本河は延長一九〇軒餘、ベトウ迄は航洋汽船の通航が可能である。

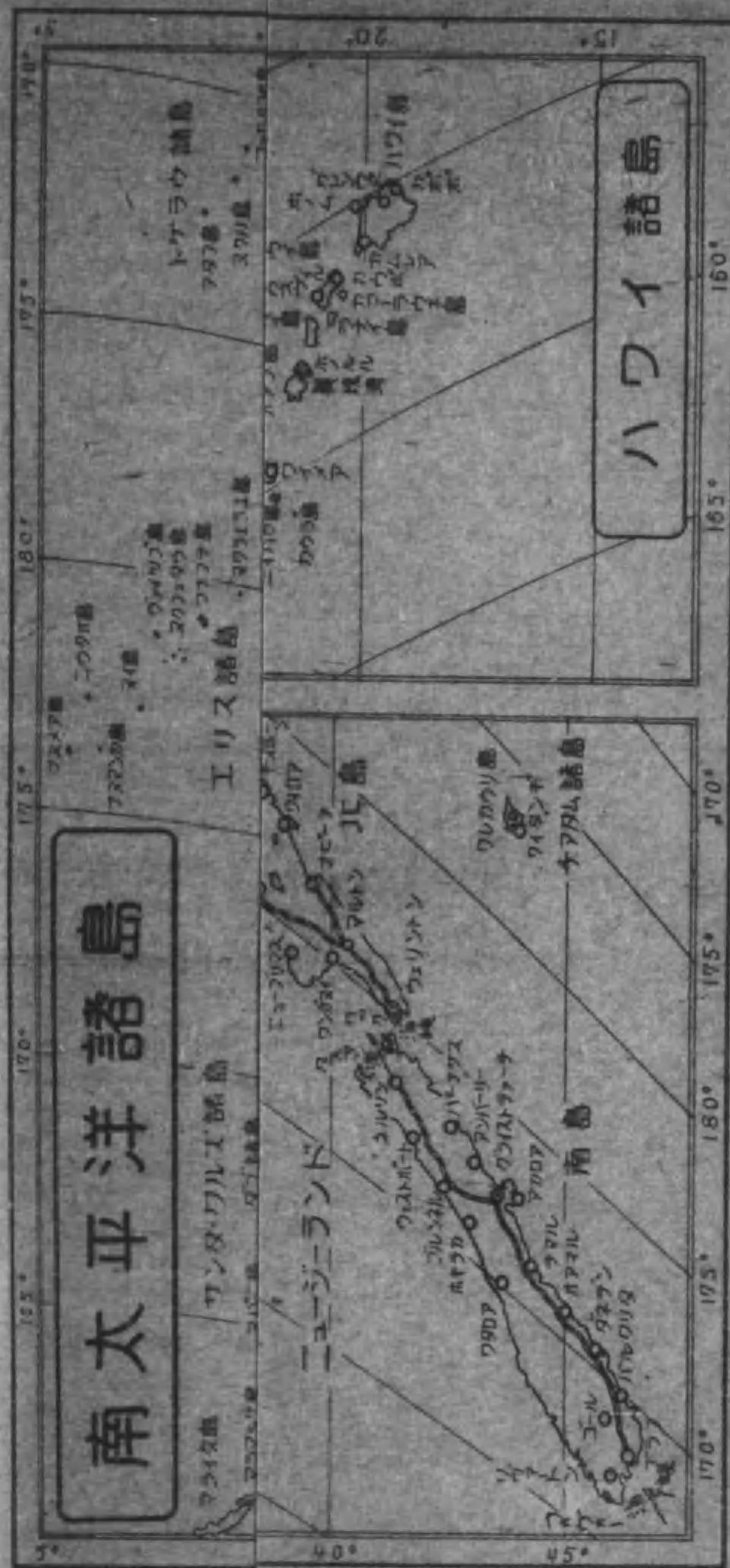
メナム・ブラーチーン Menam Prach'in (タイ)

タイ國にある河。メーナム・パーン・バ・コン河の中流を斯く呼ぶ。

同河の項参照。

メナム平野 Menam (タイ)

別名中部平野
タイ國メナム河の流域一帯の大平野長さ三百軒幅五〇—一五〇軒に及ぶ渺茫たる大沖積平原で首都バンコックで海拔一・八米、アユチャーで四米、デルタの北部頂點チャイナートで一八米、北緯十八度のメーヨム河岸でも三四米に過ぎず至極低平で起伏がないので雨季にはメナム河が氾濫して沃土を齎し世界有数の米作地帯であることは周知の如くである



メナム

ム・バー
政府の灌

am Noi

ナム河

Menam

岸の河メ

am Pasak

ナム・ロ

で長三二

Menam

にある小河

ン Menam

てタイ

河、北緯十

度附近に發

中流をメナム・ラーチーン・
と言ふタイ國政府の灌漑計畫で
有名な「コーン・ナヨーク河
はナコーン・ナヨークで附近か
ら南流してメナム・バーン・
パ・コンに注ぐ本河は延長一九
〇餘、メナム迄は航洋汽船
の通航が可能である。

メナム・ラーチーン Menam

Frach'n (タイ)

タイ國にある河。

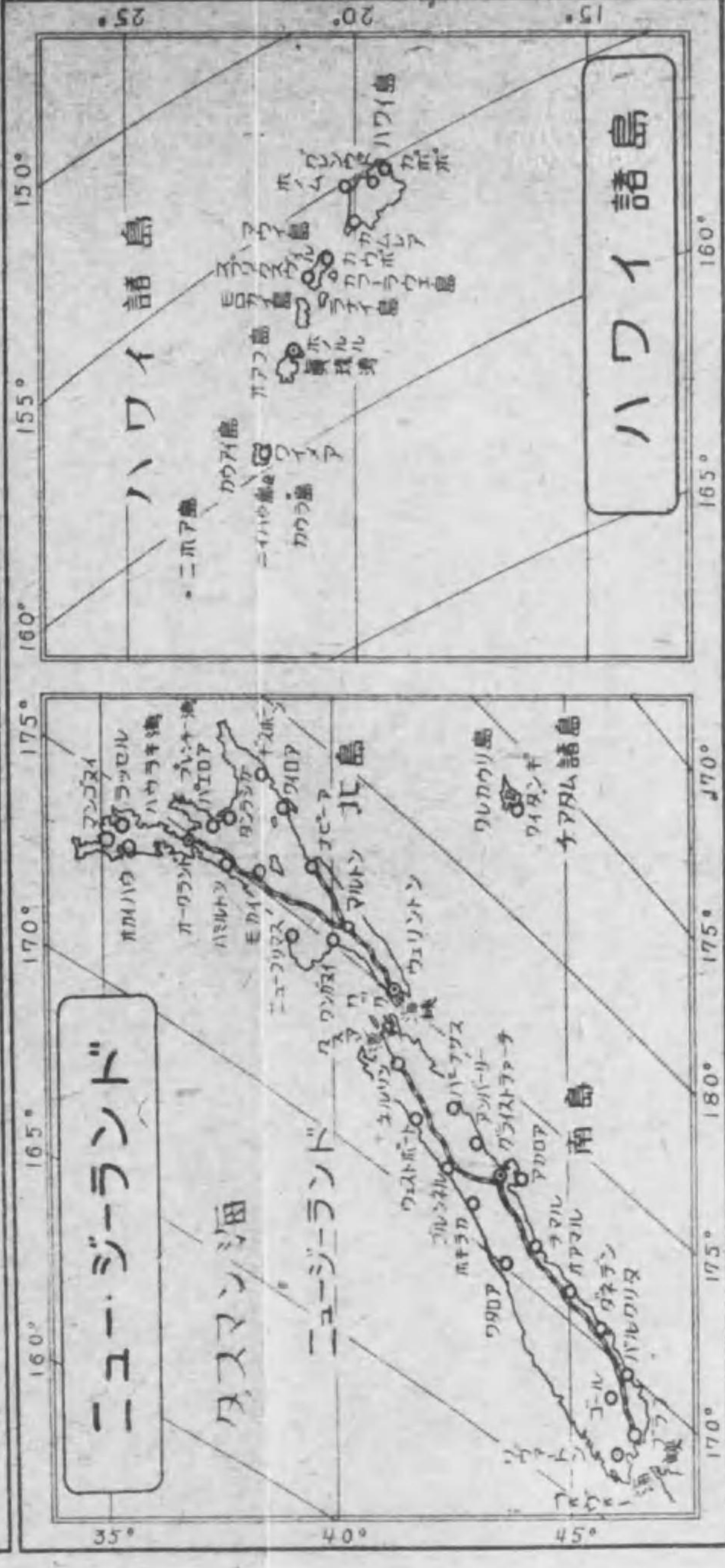
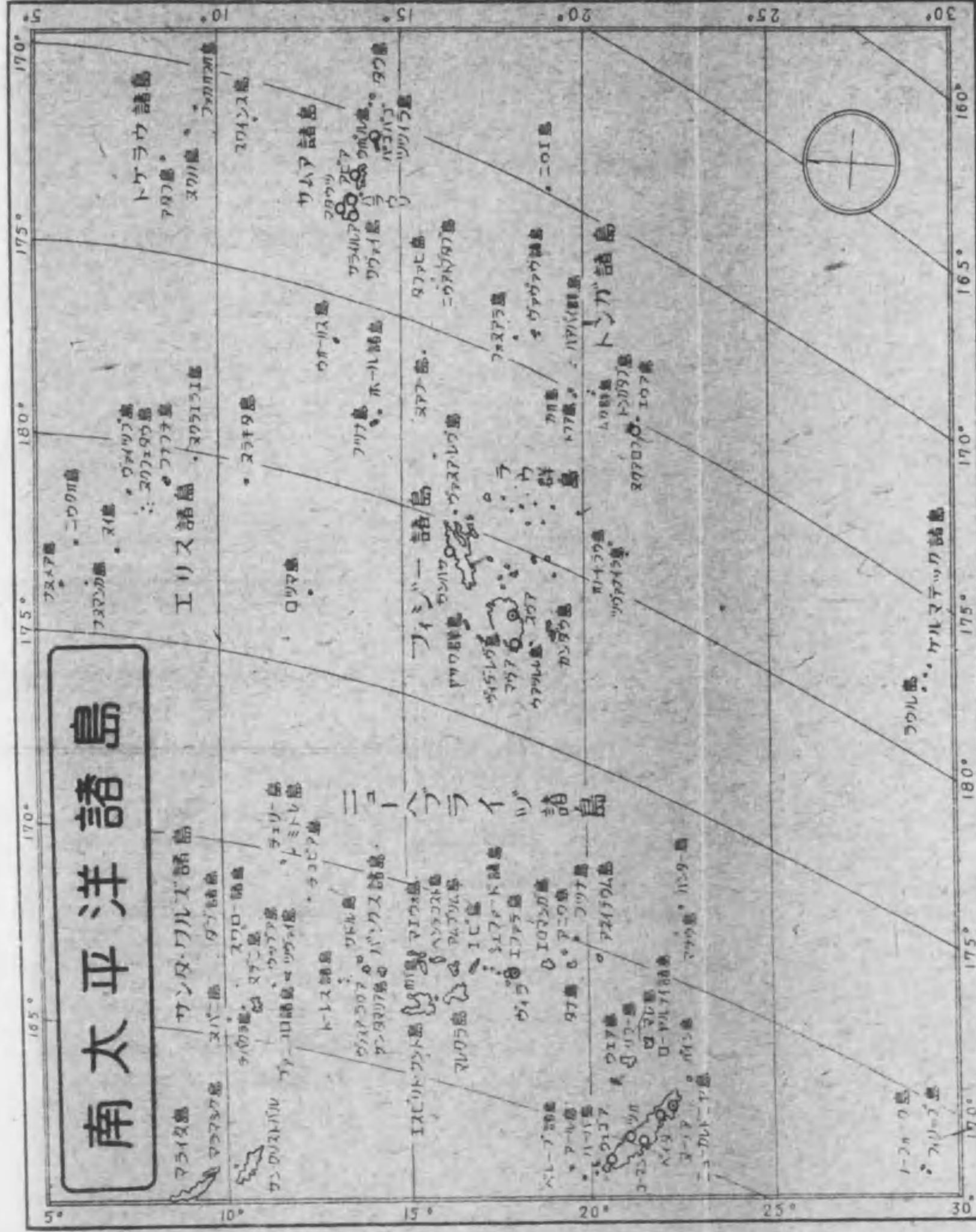
メナム・バーン・パ・コン河
の中流を斯く呼ぶ。

同河の項参照。

メナム平野 Menam (タイ)

別名中部平野

タイ國メナム河の流域一帯の大
平野長さ三百餘幅五〇一五〇
軒に及ぶ渺茫たる大沖積平原で
首都バンコックで海拔一八米、
アユチャで四米、デルタの北
部頂點チャイナートで一八米、
北緯十八度のメーヨム河岸でも
三四米に過ぎず至極低平で起伏
がないので雨季にはメナム河が
氾濫して沃土を齎し世界有数の
米作地帯であることは周知の如
くである



メナム・メークロー Menam

Meklo g (タイ)

タイ國の西南部を灌溉してタイ
灣西北隅に注ぐ河。同國西方國境上北緯一五度及一
六度附近の二水源より發し並行
して東南流しカーンバリー附近
で合流して海に入る兩河は東を
クエー・ヤイ西をクエー・ノー
イと呼び流域の奇勝と河水の明
澄とで有名である。本河はクエー・ヤイの水源から
延長四百軒に達するが合流點よ
り上流は淺底の艀舟さへ通航不
可能である。**メー・ナン** Me Nan (タイ)

メナム河の一支流。

メナム河の項参照。

メナム・ロブブリー Menam

Lopburi (タイ)

メナム河の一分流。

アユチャー附近に於てメナム・
バーサク河を合してゐる。**メー・ピン** Me Ping (タイ)

メナム河 一支流。

メナム河の項参照。

メーミヨ Maymyo (ビルマ)

印度におけるシムラの如く避暑

地で、夏季は州政廳首腦部が移
轉してゐた。極めて最近までピンウルウイン
と稱するシャン族の小村落であ
つたが英國が一八八六年上ビル
マを占領してから當時の指揮官
メイ少佐の名にビルマ語で「都」
といふ意味のミヨを結びつけ
メイミヨと名付けた。マングレーより四三哩、海拔三
千四百呎の高地にあり、氣候温
暖、冬は山が關東地方の初冬に
似てゐる。建物は主として洋風
で田舎には珍らしい外觀を呈し
てゐる。

人口一萬六千(一九二一年)

マングレーとは優秀な自動車道
路で結ばれてゐる。**メムバクツト河** Membakut (ボ

ルネオ)

舊英領北ボルネオの河。一八四
六年英國軍艦は同河流域のマジ
サマンを攻撃、その城塞を撃破
した。**メー・ヨム** Me Yom (タイ)

メナム河の一支流。

メナム河の項参照。

メラウケ Merauk (ニューギニ

ア)

舊蘭領南部英領に近きメラウケ河口左岸にあり南部行政の中心地で汽船の定期寄航地。

メラウケ河 Merauke R. (ニューギニア)

舊蘭領南部で舊英領近くを南方に流れる河で河口にメラウケ港がある。

メラツク港 Merak (ジャワ)

西部ジャワ省バンタム州西北端メラツク島に保護された港で、バンタム鐵道の終点になつてゐる。同港からスマトラ島東港オーストハーフェンに定期連絡船がある。

メラピ火山 Merapi (スマトラ)

西海岸州バタン高地にあり、標高二八三四米。

メラピ山 Merapi (ジャワ)

中部ジャワ省スラカルタとケドゥ州境にある活火山でメルボル山と双子山をなす山、標高二三一一米。

一九三〇年大爆發し、多数の死者ならびに廣大な耕地に大損害を與へた。

メリアン河 Melian (ボルネオ)

舊英領北ボルネオのペナン河の支流。

メリカツプ河 Melicup (ボルネオ)

舊英領北ボルネオのペナンガ河の支流。

メリツシ礁 Marris (太平洋諸島)

濠洲のブリスベーン港からソロモン群島へ向ふ航路上にあり、現在生育中の環礁である。

環礁は南北六マイル、幅半マイル—マイルで礁の東端に海に洗はれぬ場所がある。

メリンジ礁湖 Melinga (太平洋諸島)

ソロモン群島イサベル島の北東岸にあり、シドニーよりの郵便船の寄港地で、イサベル島の北東岸八マイル迄に五つの島により形成された半圓形のものである。この礁湖は島内船に対する怡好の給水場で、干満差はげしく八呎にも達し大小の船を曳入れて砂上に上げ船の清掃をなしてゐる。

メリーバラ Maryborough (濠洲)

クインズランド州の一都市。東海岸に近く、メリー河を遡江すること三十二キロの河港。

ブリスベーンの北方鐵路二百六十九キロ、ジンビー—金鐘山及びブラム炭田の門戸。材木、砂糖を輸出する。人口は一萬五千である。

メリーバラ Maryborough (濠洲)

ヴィクトリア州メルボットの都邑。メルボットの北西鐵路百九十キロ。ロツドンヴァリーにあり。鐵工場、鐵道工場があり、附近一帯は金産地である。人口は約六千。

メルチヨン河 Merchong (マレー)

マレー半島パハン州の小河。

メルグイー Mergui (ビルマ)

人口一萬七千(一九一一年)テナセリム管區、テナセリム河の河口にあり、眞珠採取で名高く、附近からは錫を産出する。

メールグイー群島 Mergui Island (ビルマ)

メールグイー沿岸にあり、總數八百四箇の島よりなる、その景

觀美はならぶものなしといはれうち最大にして開化せるものはキング島(一七〇平方哩)である、ゴムの栽培が行はれてゐる、同群島の大部分はサロン族(一名モーケン族)が住んでゐて、眞珠採取業が盛んである。

メルバブ山 Merbaboe M (ジャワ)

中部ジャワ省スラカルタ州とケドゥ州境にある山でメラピと双子山をなしてゐる。標高二一四五米。

メルボク河 Merbok (マレー)

マレー半島ケダ州南部にあり同州西海岸に注ぐ小河。

メルボルン Melbourne (濠洲)

ヴィクトリア州の首都ポート・フィリップに臨み、交通の要地である。同灣は廣闊なる上にその入口が狭く、風波を避け、二千キロの面積中四分の三は利用出来る。カラ河は同市の中心に至るまで吃水七米の船を自由に出入させうる。

市街は廣闊端正である。行政廳商業會議所、市廳、圖書館、博物館、大學等があり、官衙、學

校の都市でもあり、又商業都市として発展してゐる。

市民の生活様式は純然たる英本國風で保守的で、質朴である。氣候は温暖である。面積は二千平方キロ。人口百四萬六千七百五十人（一九四〇年調）

濠洲市街を遠巻きするウイクトリヤ諸高地地帯から産出する金、銅、石炭は相當量に上り、又諸高地帯には小麦、羊、その他果樹等の各種資源の集散地でその加工業も殷賑を極めてゐる。製鐵所、製粉所、毛織工場等より靴、衣服、陶器、皮革、石鹼、毛織物等の製造所があり、交通も極めて便利で、開港場として羊毛、小麦、小麦粉、牛酪肉類、獸皮を輸出し、織物、鐵機械、雜貨等を輸入する。

メレ島 Mare (太平洋佛領)

佛領ロヤルテイ列島中の一、島の長さ廿二マイル、幅十マイル、場所によつて三百フィートの高さに隆起す。

一八六六年佛國は正式に領有しローマカトリックは教傳道師を送して布教せしめたがプロテス

タントとの間に激しい闘争があつた。現在カトリック教徒はパン島に移住してゐる。

メレナ島 Merena (太平洋諸島)

ニューヘブリデス島を見よ。

メー・ワン M^o Wang (タイ)

メナム河の一支流。メナム河の項参照。

メンガラ Menggal (スマトラ)

ムンガラに同じ。同項参照。

メンコカ山脈 Mengkoka (セレベス)

ムンコカ山脈に同じ、同項参照。

メンタウエイ諸島 Mentawai (スマトラ)

ムンタウエイ諸島と同じ、同項参照。

メンタポツク山 Mentapok (ボルネオ)

舊英領北ボルネオの高山、標高九千呎。

メンドウト僧蹟 Menloet (ジャワ)

中部ジャワ省ケドゥ州東部、ボルブドールより三軒のところにある佛蹟で、規模は小さいがその上に安置される佛像が奈良中宮寺の木像と相似して居ると稱

せられてゐる。

メンダワイ河 Mendawai (ボルネオ)

ボルネオ島南部を流れる河。

モの部

モア島 Moa (小スンダ列島)

小スンダ列島チモール島東北にある島、マグネシウム、クロムを埋蔵する。

モアカウ Moa Cay (佛印)

(毛街) 佛印トンキンにあり、支那との境界に近く漁業の中心地で華僑の産業が盛んに行はれてゐる。

モウグ島 Maug (太平洋諸島)

我が委任統治領マリアナ諸島の一で大噴火孔の破片として残つた三箇の島から成り自然の港灣をなしてゐる。海岸は峻嶒で雜草が密生し、コブラを産し、港内は魚族多し。

モオウチ山 (ビルマ)

カレンニ土侯國にあり。亞鉛、ウオルフオラムを産出する。

モガール サライ Moghal Sarai

(インド)

ガンダス河中流の都市で、オードロヒルカンド鐵道の起點で東印度鐵道の終點にあたる交通の要衝。

木曜島 (濠洲)

クインズランド州の北端ヨーク岬とバブア島の中間、トレス海峡にある島である。同海峡群島の首位を占め、面積は三千三百三十六平方キロ、人口は千七百人（一九三九年推定人口）他は日本人、バブア人、比律賓人、馬來人、支那人、濠洲土人等十七種の人種に區別される。ポート・クネデーが主港で、町の一角に『ヨコハマ』と稱する日本人町がある。日本人は主として眞珠採取業に従事してゐた。

本島は政治的に、經濟的に、軍事的にも北濠洲の樞要地であり島内には政廳、警察署、郵便局税關、病院の官衙があり、また造船所、ホテル、電燈、水道の設備もある。政廳には理事官が駐在してゐる。

本島には要塞があり、一九三二年ポートダウインに軍隊の移駐

するまでは本島に駐屯し、貯炭所をおきイギリス海軍の根據地であつた。日、英、蘭、中華等の各國船が寄航してゐた。産物としては眞珠、鼈甲その他の産物がある。

モーゴク Mogok (ビルマ)

人口一萬一千(一九一一年)
上ビルマの標高四千呎の高山地帯にあり、自動車道路によりタベク・チン、イラワジ河と結ぶ。同地方は世界的な紅玉鑛業の中心地である。

モスコス諸島 Moscos Islands (ビルマ)

タウオイ島沿岸にあり、南、中北の三島より成る、食用燕窩業者の他住民が多い。

モダラガム・アル河 Modaragam Ar. (セイロン)

セイロン北部を西流しアラビア海に入る。

モチヨワルノ Modjowarno (ジャワ)

東部ジャワ省スラバヤ州南部モチヨケルトの南方にあり、キリスト教の布教本部がある。

モチヨケルト Mojokerto (ジ

ャワ)

東部ジャワ省スラバヤ州中央東部にある、モチヨケルト分州の首都、スラバヤ國鐵線に沿つてゐる。

モミ Momi (ニューギニア)

舊蘭領フオーヘルコツツ半島東岸の港、南洋興發はここで棉花栽培を行つた。

モランゴール地方 Molangor (マレー)

マレー半島スランゴール州の産錫地帯として有名である。

モリー Moree (濠洲)

ニューサウスウエール州の都邑。グワイデル河に沿ひ、シドニーの北北西、鐵路六百六十五キロ。クインズランド州境のムンギンヂと鐵道連絡あり。温泉地であり農耕の中心地。人口は約三千餘である。

モリブ海岸 Morib (マレー)

マレー半島西海岸スランゴール州にあり、同半島の西海岸一帯は泥床にマングローブが繁茂した熱帯特異の海岸地形が大部分を占めるがこの方面の海岸は珍らしく砂灘である。

モルツカ群島 Molukken (モルツカ群島)

モルツケン群島ともあるひは香料群島とも稱し舊蘭領東印度の東北部に位置する面積一二七〇平方軒の群島で、ハルマヘラ、バジヤン、オビ、ブル、セラム、アンボン、スラ、バンダ等の諸島を總括する。

モルツカ海 Moluccas (モルツカ群島)

モルツカ群島とセレベス島の間に第三紀後期の陥没によつて成生したもので中間に存在するスラ諸島によつて北と南の海盆に別れる。北の海盆は平均二〇〇〇米の深度で東南に深く四八一〇米に達し、南の海盆は平均四〇〇〇米で最深度點は四八九二米である。

モルガン Morgan (濠洲)

クインズランド州の東海岸南部にあり、ロツクハンプトンの南西方三十九キロの奥地にあり、鐵道の便がある。

人口は約四千五百人、町の周辺には金山多く、金の産出地として著名、銅も産出し、金と銅の

精練場がある。鑛産物は鐵道によりロツクハンプトンに運ばれ海外に輸出される。

この町は熱帯地に屬してゐる關係から甘蔗、バナナの栽培が盛んである。

モルガン Mrgan (濠洲)

南オーストラリヤ州。マレー河下流の曲折部にあり、附近には沼澤池が多い。人口は約二萬人(推定)市郊外の沼澤池は近年殆んど干拓され、葡萄園や牧羊牛地として更生してゐる。農業では小麦、野菜、果實類が多量に生産される。

モールメン Moulmein (ビルマ)

人口六萬五千(昭和十七年一月卅一日皇軍占領)ビルマにおける英人最古の都市でサールウィン河左岸にありビルマ第三の大都市である。ラングーンとは鐵道で結ばれ百七十三哩の地點にあり、サールウィン河流域の物資並びに南部沿岸地方の米、錫木材の集散地で製材、製米、造船工場等がある。往時は良港であつたが近年サールウィン河の泥土で淺くなり寂れてゐる。市

外にはアソカ王の建立したといふチャイリクタン、ウズイマの二佛塔があり、風光明媚である。

モレスビー海峡 Moresby Strait
(太平洋諸島)

バブア東地区、グツドエナフ島とフェルグツソス島にはさまれた海峡。

モレングラーフ山脈 Moleng
Raaff M. (セレベス)

メナド州西岸よりセレベス州中央部へ南下する山脈。

モロカイ島 Molokai (太平洋諸島)

ハワイ諸島中の一、面積六七四九八四八三平方キロ、人口五、三四〇人、ラナイ島の九十キロ余北方に位し、その間バイロロ海峡がある。全島山岳に富み、急溪をなし全山緑で覆はれてゐる、大體東部が沃野となつてゐるが住民は南部の狭い沃野を選んで住んでゐる。

同島は瘧病のコロニーとして、比律賓群島のクリオン島と共に世界的に有名であり、同島が瘧隔離島となつたについてはウヨ

セフ・ダミエンの努力によるもので、彼の功績は絶大なものがある。

モロタイ島 Merotai (モルツカ群島)

群島北群に属しハルマヘラ島北方にあり、延長約八〇軒、幅三〇軒、面積一六四七平方軒、人口約二萬で、海岸に椰子が繁茂しました丁香を産す。

モロ山 Mollo (小スンダ列島)

小スンダ列島チモール島舊蘭領にある山で、標高一六三五米。

モントラド Montrado (ボルネオ)

舊蘭領西ボルネオ州北部の町。

モン・カ山 Mong Ca (佛印)

佛印のトンキンにある山岳で、高さ二、八三四米。

モンカイ Mong-Cay (佛印)

佛印東北の廣東省との國境近くにあり、附近海面で漁業盛んに行はる。

モンジル Monjir (インド)

ビハール州、雲母の産地として有名である。

モンギール Monghyr (インド)

北部ビハール州、ガンダス河畔

に沿ふ都市名。

モンナイ土侯國 Mōng Nai (ビルマ) 又は **メンナイ**

シャン聯邦、南シャン州の一土侯國、面積二千七百七十七平方哩九八一の村より成りアメリカ・バプタイスト教會が古くからある。

モンナウン土侯國 Mōng Nāwng (ビルマ) 又は **メンナウン**

シャン聯邦南シャン州の一土侯國、面積一千五百七十五平方哩、七七七の村より成る。

ヤの部

ヤウエ土侯國 Yawng Hwe (ビルマ)

シャン聯邦、南シャン州の一土侯國、面積一千三百九十二平方哩、千九二の村より成る。

水陸兩棲の種族が住むといふインレ湖は同國にある。

ヤツプ島 Jap (太平洋諸島)

我委任統治領、ヤツプ支廳の所在地で、カロリナ群島の主島である。従來植民には不適とされ

たが、南洋拓殖會社が開拓に着手して注目をひいてゐる。

面積二百七平方キロ、四つの大島(ヤツプ、ルムング、マツプトミール)と約十ヶの小島より成る。

主島のヤツプは狭長の島で、周圍は二キロ乃至四キロの珊瑚礁で圍まれ、トミール港は良港である。

ヤサワ諸島 Yasawa Islands (太平洋諸島)

英の國直轄植民地フィジー諸島の中に含まれる島嶼群で、グイタイ・レグ島の西北方沖合に北から南に連なる島礁である。

ヤナム Yanam (インド)

印度東岸ゴードガヴァリ河河口にある小港、住時フランスの勢力下にあつた。現フランス領でボンジェシエリーの政廳の管下にある。

ヤバラ Jajara (ジャワ)

中部ジャワ省スマラン州北東岸にあり、古くは東印度會社の商館あり重要商業都市であつたが一七〇八年スマランへ移つてより衰微してゐる。木彫細工は名

高い。

ヤメーテイン Yamethin (ビルマ)

ラングーンより鐵路二七九哩、マンドレー管區の同名縣の主邑で、大きな鐵道工場がある。

ヤラー Yala (タイ)

タイ國領マレー半島にあり、附近一帯は産錫地帯で、同地方の錫はパタニーに集められ昭南島に送られる。

ヤルト島 Jaluit (太平洋諸島)

東南洋委任統治領、マーシャル群島内の一島で、面積は八平方キロ、礁島で土壌少く農耕に適しないが椰子の生育によく、コブラは全群島の生産額の大半を占めてゐる。同島を中心に南洋拓殖会社が水産資源の開発に従事してゐる。

ヤンダホ Yanlaho (ビルマ)

第一次英緬戰爭當時英軍はこゝまで侵入し、ヤンダホ條約によつてアッサム、テナセリム、アラカン三州を英國に割譲した。

ヤンデナ島 Jandena (小スンダ列島)

小スンダ列島チモールラウト諸

島の主島面積二九八一平方軒。

ヤンドーン Yand-on (ビルマ)

人口一萬二千(一九二一年)イラワザ河とパンラックロークの合流點にあり、ラングーンより六哩、曾つては貿易港として盛んであつたが、現在では寂れ、カビーと稱する鹽魚の産地としてのみ有名である。

ユの部

ユリアナ山 Juliana M. (ニューギニア)

舊蘭領雪山脈東部の高峰で標高四七二一米、未だ頂上を極めたものがない。

ユエ河 Hue River (佛印)

順化、佛印安南にあり、香河とも稱され河口から十二キロ上流で順化を貫流し河水青色を帯びた名河である。

ユエ Hue (佛印)

順化、佛印安南の首都で、安南理事廳の所在地、人口八萬、ユエ河十二キロ上流にあり、市は河を挟んで右岸は佛人街、左岸

は土着人街をなし、土人街には王宮がありまた商業地區として繁榮してゐる。

雪山脈 Sncuw Mts. (ニューギニア)

ニューギニア島中央部を東西に走る高山脈で赤道下にありながら四時雪を頂いてゐるので雪山脈と稱した中央山脈とも云ふ。

ヨの部

ヨーク York (濠洲)

西オーストラリア州、パースの南方、小麦地帯にあり、鐵道はパースとアルバニーに通じてゐる。人口は四千四百人(一九三九年調)小麦栽培の中心地であり、小麦地帯の東方には牧羊地帯が展開してをり羊毛が盛んに積出される。

ヨーク半島 York Peninsula (濠洲)

オーストラリア大陸の南岸東部にありセントヴィンセント灣とスペンサー灣との間を境する長靴狀の半島である。

その麓部はカンガール島と相對し、インベスタゲートル海峽を挟み、その尖端をヨーク岬と稱する。半島の延長は百五十キロに達する。

ヨークタウン Yorketown (濠洲)

南オーストラリア州ヨーク半島の最南端に位する郡邑である。製鹽業が主要産業として盛んである。

ヨーク・サウンド York Sound (濠洲)

西オーストラリア州の北方、キンバリー沿岸北部に位する南緯十五度、東經百二十五度三十分にある海灣である。北西方に開口してゐる。

ヨーク・ケープ半島 York Cape Peninsula (濠洲)

タインスランド州の北部に突出せる半島で、南北の延長四百八十キロ、幅最大二百五十メートル。その北端をヨーク岬と稱しトレス海峽を隔ててニューギニアと相對してゐる。

ヨシペン Yorg Peng (マレー)

マレー半島ジョホール州西部の

小邑、大東亞戦争に際し皇軍マレー部隊は昭和十七年一月廿四日同地を占領した。

ラ の 部

ライカ土侯国 Laikha (ビルマ) シャン聯邦、南シャン州の土侯國、面積千四百三十三平方哩、五三一ヶ村より成つてゐる。

ライチモール島 Leitimor (モルツカ群島) 南洋群島アンボン諸島を形成する島。

ライシュウ Lai-chau (佛印) 萊州、佛印トンキンの一州で軍の管轄区域の一となつてゐる。中心地はアイエン・ビエンにある。

ライプール Raipur (インド) 中央印度、人口三萬五千、穀物棉花の集散地である。

ラヴオンガイ島 Lavongai Is. (太平洋諸島) 東北ニューギニア、ニューアイランド地方のこの島は東西四十二哩、南北廿哩、南部に山岳

多く南岸にラボンガイ港あり、メタマス港がある。西岸には西港、マリエン港あり。

ラウラウ灣 Lau lau bay (太平洋諸島) サイパン島をみよ。

ラウト島 P. Lauet (ボルネオ) ラウト海峡をへだて、ボルネオ南東端に位する島で、島内にはラテライト鐵礦の埋藏多い。又石炭も産出するが粗悪である。

ラウニオン州 La Union (比律賓) ルソン島西北部にあり、面積九〇七平方キロ、人口二〇八、四四九(一九三九年)、森林濫伐の結果雨季には河水氾濫す、砂糖、米、麻、椰子、玉蜀黍、鹽石灰、石炭を産す。在留邦人八六(一九三九年)

ラウイト山 Lawit M. (ボルネオ) 西ボルネオ州北東部、蕙英領との境界にある山、標高一七六七米

ラウー山 Lawoe M. (ジャバ) スラカルタ州と東部ジャバ省の境界にある山で、標高三二六五

米、麓にはチーク材がある。

ラウンセストン Launceston (濠洲)

タスマニヤ洲中央高原の北東、東部山脈の北部平野の中心地、バス海に流れるタマル河の上流に位し、ホバートに鐵道が通じてゐる。タマル河の舟運の終點で、水陸交通の便に恵まれた中心都市。人口三萬三千八百七十人(一九四〇年調)

近郊は豊饒な農園で、雨量も適當に恵まれ、市民は自治體的精神が強く、衛生施設が完備してゐる。水力電氣事業の發達したところから生活の細い點に至るまで電氣様式をとり入れてゐる。教育施設運動施設も文化都市として小規模ながら完整してゐる。

周辺郊外を中心として北部平野から海拔三百五米以上の北東部高原地帯まで農牧業が盛んであり、主として小麦、燕麥、豌豆類、馬鈴薯、果實(林檎)等の農作物と、牧羊、牛、馬の牧畜業が行はれる。

工業は市の郊外方面で盛んに行

はれてゐる。

酪農業、その他各種工業は本島が電氣に恵まれてゐる關係でホバート同様發達してゐる。

主なる生産品は毛織物製品、羊毛、牛肉、チーズ、バター、製粉、製材等である。

これらはタマル河によりヴィクトリア州方面に移出される。

ラウブ地方 Raub (マレー)

マレー半島パハン州の産金地、附近一帯に金を産出し、ラウブ鑛山は約四十年間作業を行ひ一九三五年までに一萬七千三百九十三噸を産した。

ラウブ Raub (マレー)

マレー半島パハン州にあり。マレー半島では水田耕作に水牛を使役するが舊聯邦畜産局ではラウブに水牛牧場を設立、水牛に育成、飼糧、習性等を研究、その改良に努力してゐた。

ラヴィ河 Ravi River (インド)

インダス河支流五河の一、ヒマラヤ山麓に源を發し、南西に流れ、チエナブ河に入り本流と合す。

ラエ Lae (太平洋諸島)

東北ニューギニア、フオン湾に面しマルカム河口に近し、各航空会社の基地である。奥地産金地方との交通開けてゐる。

ラオカイ Lao-Kai (佛印)

(老開) 佛印トンキン北部にあり、紅河と雲南鐵道に沿ふ交通の要衝として、國境交易都市として知られる。

ラオカイ州 Lao-kay (佛印)

老開、佛印トンキンの一州、面積五千九百平方キロ、人口五萬七千五百七十二人(一九三八年)

ラオカイ河 Rao-Cay (佛印)

佛印安南にあり、タナブ、ミンカム、ロクソンを流過し南支那海に注ぐ。

ラオス保護領 Laos (佛印)

佛印西北部を占め面積二三一、四〇〇平方キロであつたが、昭和十六年タイ・佛印協定で一九〇四年タイ國が割讓したメコン側右岸地區をタイに返還したため十六萬九千平方キロ程度となつた。この地域は原始林が多く調査も未だ不充分の地區である。ラオスの人口は一九三九年一、〇二三、三一四人で、産物とし

ては米年産三七三、一二〇トン(一九三九年)棉花、煙草、金、錫、鉛等がある。

ラオス保護領は次の九州と一軍政區から成る。

アトプー、カモン、オートメコン、ウアベン、ルアンプラベン、サラバーヌ、サヴァナケト、トランニン、ヴィエンチアン、軍政區—フオンサラー

ラオアグ Laosg (比律賓)

ルソン島北部イロコス、ノルテ州ラオアグ河口近く一町で、人口四二、二〇二(一九三九年)兵舎、國立空港、州廳、アグバイ派大本山所在す。

ラカデイヴ諸島 Laccadive Islands. (インド)

印度半島オドラス州西岸、アラビア海洋上に點在する珊瑚群島。

ラオール島 Raoul Is. (太平洋諸島)

サンデー島をみよ。

ラカーン山 Lakaan M. (小スンダ列島)

チモール島にある山、標高一、五二五米。

ラガ Igan (小スンダ列島)

チモール島舊蘭領にある小邑、附近に油田があるので知られてゐる。

ラクムプール Lakhimpur (インド)

アツサム北東の地方名、チベット、ビルマの間に介在し、米、茶の産地である。面積一、一八三〇方キロ、人口四七萬。

ラクナウ Luknow (インド)

ラクナウの項参照。

ラクジヤ州 Rach-ga (佛印)

佛印交趾支那の一州、面積六千八百平方キロ、人口三十五萬四千六百。

ラダナ州 Ingina (比律賓)

ルソン島中央部、面積一、八七〇平方キロ、人口二七九、〇七五(一九三九年)住民は支那人の混血多く一六三九年支那人の暴動あり、比島革命の父ホセ、リサルもこの州に生れた。産物麻、椰子、米、砂糖、果實、陶磁器等、在留邦人一五五(一九三九年)

ラデーグレン Rutherglen (濠洲)

ヴィクトリア州ボゴンドの都邑。メルボルンの北東鐵路二百七十四キロ。

人口は約二千五百餘である。

ラシオ Lasio (ビルマ)

人口四千餘。

北シアン州の主邑。マングレーラシオ線の終點で海拔三千呎、櫻が美しく咲きバザーには山間諸種族及シヤン族が集つて来る。シヤン・ステーツの土人子弟學校がある。

ラシオから北上して國境を超える自動車路は滇緬公路として有名。

ラジギル Rajgir (インド)

ビハール州。

パトナからバクテイヤプールに至り南方三三マイルの地點。

釋迦以前からのマガダ國の首都でインドにおける最古の都である。

有名な王舎城跡はこゝにある。

ラージ・シヤーヒ Raji-Shahi (インド)

ベンガル州。

製糸絹織物の産地。

ラスム Lasem (ジャワ)

中部ジャワ省ルムバン州西北岸にある支那人の町でパティツク工業が行はれてゐる。

ラムス山 Lasem (ジャワ)

中部ジャワ省東北の火山標高八〇〇米。

ラセム Lasem (ジャワ)

ラスム山に同じ同項参照。

ラチャブリー州 Rajaburi (タイ)

タイ国西南部ビルマとの國境地帯を占める一州(舊政治區劃)平野地帯には米をはじめ各種の農産物を、山嶽地帯には紫檀、黒檀、タガヤサン、竹等の林産物や鉛、錫、銀、寶石類等の礦産がある。

ラチャブリー Rajaburi (タイ)

タイ国メクロン河の流域にあり果實、野菜、煙草等各種農産物家畜類の集散地であり附近に錫を産出す同地方産の鑽石はカンタンに集められビナンへ送られる。

ラチャバサ山 Radjabasa (スマトラ)

ラムボン州南端東部の山、標高一、二八一米。

ラツセル諸島 Russell Is. (太平洋諸島)

ソロモン群島中の一島嶼群で二つの大島と數多の小島から成る。最大島にはマライタ會社所有のヤンティナ農田あり。

ラツセル Russel (濠洲)

タスマニヤ州の観光の町である。

町の背後に瀧があり、四季を通じて観光客の往來が絶えない。

ラツセル Russell (ニュージーランド)

北島北部オークランド半島の東岸アイラング灣に面する小港でオークランドの北西百九十三キロ。水路によつて連絡してゐる捕鯨船の根據地であるほか附近にマンガン、アンチモニー礦山がある。また同島最初の移民地。歴史的遺物が多い。

ラテイモジヨン山脈 Latimodjong (セレベス)

セレベス州、南西部半島の東北部にある山脈で同島の最高峰ラントカンボラ山がある

ラトローブ Latrobe (濠洲)

タスマニヤ州の都邑でマーシー

河沿岸にあり官營油頁岩工業が行はれてゐる。

人口は約三千五百である。

ラトナギリ Ratnagiri (インド)

印度、西岸ボンベイを去る一三〇哩の南方にあり、最後のビルマ王ティボウ、その後マハ・デヴィ及王女は英艦によりこゝに移され後ティボウ王はこゝで逝去した。

ラトナブラ Ratnapura (セイロン)

セイロン島。

コロombo東南六四哩の鐵道沿線にありゴム、茶の栽培が行はれ寶石産地の中心地でもある。

ラナイ島 Lanai (太平洋諸島)

ハワイ諸島中の一、マウイ島の西方約十二キロにあり、マウイ島との間はアウアウ海峡で距たれてゐる。

標高極めて高く約三千四百呎であり、全島火山性である。全面積三六〇、九〇六〇平方キロ、人口三、七〇二人。

ラノウ湖 Ranau L. (スマトラ)

同島南部ベンクレン州とパレンバン州の境にあるの湖。

ラナオ州 Lanao (比律賓)

ミンダナオ島中央部にあり、面積九、三一七平方キロ、人口二二四、三〇〇(一九三九年)住民は回教を信ずるラナオ族、産物は米、玉蜀黍、甘蔗、落花生、木材等、在留邦人四八(一九三九年)

ラナオ平野 Ranao (ボルネオ)

舊英領北ボルネオのラブツク河の水源地域、標高千六百呎の高所にある草原平野、住民少く未開發の地域である。

ラーニーガンジ Raniganji (インド)

ベルガル州。

印度有数の炭田地帯で一九三四年度の産出量は六七九萬六千トンであつた。

ラノン Ranohng (タイ)

別名レノン。

タイ國領マレー半島の西海岸にあり錫輸出港であり附近には有名な錫礦床がある。

ラパ諸島 Rapa Islands (太平洋諸島)

佛領太平洋植民地。

別名オパロ諸島といひ、ツブア

イ島の南に位す。

ラバ島を主島としネルソン、アロチリの兩島嶼あり。

ラバ島 Rapa Is. (太平洋諸島)

佛領太平洋植民地ツブアイ群島の南ラバ諸島の主島で海拔六百餘米の高山あり風景は極めて美し往時ペルーから移民が来て、未だに土人はこれに惱まされてゐる。

同島は捕鯨業者の集まる場所として有名である。

ラバウル Rabaul (太平洋諸島)

帝國委任統治領トラツク島の南一千キロ、濠洲北部のクツク・タウンから一千二百餘キロで、濠洲委任統治領ビスマルク諸島の一、ニューブリテン島の首府である。一名シンブソン港ともいひ、廣大なブランチ島の北西部に位し、東北西の三方面山丘に囲まれた天然の良港、一九二〇年以來濠洲委任統治領政廳の所在地であつたが昭和十六年九月政廳をニューギニアのラエ市に移轉、人口は一九三七年度に市内人口約四千五百、近郊部

落を合せて一萬二千五百、濠洲人を主とする英人九百、支那人一千五百、土民一萬、その他で市内整然、ニューブリテン島政廳、官衙、無電局、博物館、圖書館、植物園、病院、學校、會社等近代建築があり、政治交通の中心地をなしてゐる。飛行場もラバウルとその附近のウナコナウにあり電信局もある。市西部波止場近くマツタビー活火山と對立して昭和十二年五月海中より突如爆發噴火したヴアルカン島は今活動を中止して海中に突出してゐる。

主要物産はコブラ、ココア、コーヒー、カゴツク、煙草、綿、麻、ゴム、規那樹、米、パーム油などである。

ラハト Lahat (スマトラ)

パレンバン州にあり同州首府パレンバンよりの南部スマトラ鐵道南部スマトラ横斷道路の經由地にして交通の要衝、附近はコーヒー、キナ、ゴムの栽培適地である。

ラツドダドウ Lahatdaio (ボルネオ)

舊英領北ボルネオ、ダーベル灣に面した都邑。

煙草、古々椰子の大集散地でサンダカンシムボーナ=タソオ間に定期便船の便あり。

大東亞戰爭に際し皇軍は二月四日に同地を占領した。

ラビス河 Labis (マレー)

マレー半島ジョホール州の河、下流してパロン河と合してムアル河となる。

ラビス Labis (マレー)

マレー半島ジョホール州北部にありマレー鐵道の要驛で地方經濟交通の中心地、皇軍マレー部隊は一月二十二日同地を占領した。

ラプアン島 Labuan (ボルネオ)

ボルネオ島北海岸ブルネイ灣の灣口にある舊英國海峽植民地所屬の小島で面積三五平方哩人口七千五百人。

一八四六年ブルネイの土侯から英國に割讓され一八八九年末まで獨立の直轄領として統治されその後英領北ボルネオ會社にその行政所管を移された。一九〇五年末海峽植民地總督がラプア

ンの總督を兼任し依然獨立植民地であつたが一九〇七年海峽植民地に合併シンガポールの一部となり一九一二年再び獨立、我軍マレー占領以前は海峽植民地の一部として理事が駐在した。シガポール、北ボルネオを結ぶ航路の要點である。

大東亞戰爭に際し皇軍は十二月卅一日同島を占領した。

ラプク灣 Labuk (ボルネオ)

舊英領北ボルネオ東海岸にある灣、水深なきため大型汽船の避難には不適當

ラブーシエア山 Labouchere Mount (濠洲)

西オーストラリア州の中部、即ち南緯二十五度弱、東經百十八度にあるピーク丘陵上にあり。海拔千三十六米餘である。

ラプツク河 Labuk (ボルネオ)

舊英領北ボルネオ東海岸に注ぐ河發源地はラナオ平原附近の山脈で密林地帯を流れマングローブ簇生沼澤地を通つてサンダカン半島北方で海に注いでゐる。ツングツト河はその支流。

ラプハン・ピリク Laboehan

Billik (スマトラ)

東海岸州バナイ河口の港、港としては盛んでない。

ラーヘン Rahang (タイ)

タイ国メビン河岸にあり、材木の集散地でビルマとの陸路貿易の衝点にある。銅鑛があるが企業的価値はない。

ラホール Lahore (インド)

パンジアーブ州の首都、人口四二萬北部印度の主要都府でガンヂス河とインダス河の中間に横はる平原上にありかつてモガール王朝時代一五七八年から一五九八年まで約二〇年にわたり首府であつた。農産物の中心地で精米、紡績、工場が多く、絨氈及象牙細工の製造地として有名である。

一八五三年に建造されたといふラホール博物館は名高い。

ラム河 Ramu River (ニューギニア)

同島北方斜面の河で、源をカント山に發してをり、プレジャー灣に注ぐ。

ラムボダ瀆 (セイロン)

セイロン島。

ヌワラエリヤ高原にある瀑布でセイロン一の大瀆である。

ラムブーン Lambun (タイ)

北部タイ國にある同地方最古の町西暦五七五年にラオ國から移住したモン人によつて建設された町でハリブンチャイと稱しカムボヂヤ王國の主權下にあつたが十三世紀にチェンマイを主都とするタイ侯王國の屬領となつた歴史を持つ。産物としては米、絹シ、木材等がありまたラムブーン美人で有名。

ラムバーン Lampang (タイ)

別名ナコーン・ラムバーン又はラコーン、タイ國北部にある都市。

此の町からチェンライ及びチェンセンを經由しタイの北部國境に至る道路が敷設されてゐるので同地方とは勿論國境を越えて佛領ラオス、英領ビルマのシャンステイツ更に北方の雲南地方との交通が盛である。岩鹽、果實を産する。現今縣廳、歩兵大隊兵營等ありまたチーク事業に従事する歐洲人が多數住居してゐる。一方六世紀頃から八世紀

頃に建設されたと言はれるタイ族の古い都で當時を偲ぶ寺院や遺跡も多い。

ラムリー島 Ramree Island (ビルマ)

アラカン海岸沖合にあり面積九〇〇平方哩。

石油の産出がある。チャウクビユ縣の主邑たるチャウクビユがある。

ラメスワラム島 Rameswarum (インド)

印度南端セイロン島のマナール島と對し、アダムス・ブリッジによりセイロンと結ばれて、印度本土鐵道は同島のダーニツシマテイまで延びてゐる。印度民族の寶典たるラーマヤナの主人公、ラーマを祀る最古にかつ最も美しい大殿堂がある。

ラモンガン Lamongan (ジャワ)

東部ジャワ省ベタビヤ州の都邑附近にソロ河流域の豐饒な地方を控へ農産物集散地として榮えてゐる。

ラモンガン山 Lamongan (ジャワ)

東部ジャワ省オーストフツク東(東端)ブスキ州イヤン火山の西方の火山標高一六六四米

ラヤ山 Raja M. (ボルネオ)

舊蘭領、西ボルネオ州シユワーネル山脈に屬し標高二、二七八米。

ラヨーン Rayohrg (タイ)

タイ灣東岸にあり同國の主要漁場。

ララト島 Larat (小スンダ列島)

チモールラウト諸島に屬する島で面積五一五方呎。

ララン河 Lalang (スマトラ)

バレンバン州北部を流れる河。

リアング河 Lariang R. (セレベス)

メナド州西南部よりセレベス州北部を経て西河岸に入る河。一名コロ河。

ラロン山 Larong (マレー)

マレー半島パハン州東北部にあるタハン山脈の主峯標高一九三六米。

ラロトンガ島 Rarotonga Is. (太平洋諸島)

英領クツク諸島中最大の島で面積八十一平方キロ、島民はホリ

ネシャ族五千人、島の周囲は約卅マイルで珊瑚礁に囲まれてゐるが島は火山性で二千九百呎の高峰あり島民はキリスト教信者で島北部のアヴァルア、東南部のアダニヤ、西南のアログナウイの三部落に住んでゐる。同島に無電局がある。アヴァルアは同諸島の政廳所在地。

ラロナ Larona (セレベス)
トウテイ湖よりボネ灣に注ぐラロナ河畔に臨み附近には鐵鋼鑛の埋藏が多くラロナ發電所は最低出力十八萬馬力の發電能力を有してゐる。

ラワン Lawang (ジャワ)
東部ジャワ省バスマン州にあり、スラバヤより南方七十五軒マランへの途中で汽車のほかバスの便あり、ここに東洋一と稱せられる精神病療養所があるほか観光客多く、花卉、野菜が栽培される。

ラーワルピンディ Rawalpindi (インド)
ンジャーブ州。
州境に近い舊都で人口一ニ萬、ラホール西北二七〇キロ、カ

シミールに通ずる要路に當る高地で農産物の集散地であり商業の中心地である。工業も發達してゐて瓦斯工場、醸造所、鐵工所、酪農場等がありカシミールに對する物資の供給地で軍事上の要地である。近年附近より石油を産し有望視されてゐる。

ラン・オブ・カツチ Rann of Cuch (インド)

タール沙漠の南方、廣い沼澤地帯であるが西南モンスーンの時き又は激しい降雨の後などには水をたゞへ、これに海水が侵入して大きな内海となるがその他の時は水分のない砂地となる、したがつて地圖により湖水と記入されたのもあれば記入してないものもある。乾季には全體が干上つて魚類の死臭がたゞよひ不健康地帯となる。

ランソン州 Lang-son (佛印)
諒山、トンキンの一州、面積六千二百平方キロ、人口十六萬四千四百九十人(一九三八年)
ランソン Lang Son (佛印)
諒山、トンキン州の支那國境に

近い地點にあり。
附近に産する茴香はアブサン酒の澱成料として佛國へ輸出されてゐた。

ランビアン Ling biang (佛印)
佛印安南にあり附近に牛、水牛を飼養し交趾支那、フィリッピンに輸出してゐる。

ランブナオ Lan. bonao (比律賓)
比島バナイ島イロイロ州にあり人口二三、二五五(一九三九年)

ランテンガ島 Lang Tengah (マレー)
マレー半島北部東海岸にある小島

ランカウイ港 Langkawi (マレー)
別名クアア。

ゲター州西海岸にある小市で海峽汽船會社の小帆船がアロール・スター、スングイバタニ等を連絡してゐた。無電局がある。

ランカウイ島 Lan. kwai (マレー)
マレー半島北部西海岸にある小島。

ランシット地方 Ransit (タイ)

タイ國バンコック—アユチャ間の東方一帯の低地を言ふ、英人により計畫せられた米作灌漑用の南ブラサク運河がある。(南ブラサク運河の項を参照せよ)

ランバン平野 Lampang (タイ)
タイ國北部メナム河の上流。メナムピン、メヨム兩河の流域にある高原平野で果實、麻等の農産物あり。

ランスアン Langsuan (タイ)
タイ國領マレー半島の中部東海岸にある。同地方の燕巢、鹽等の海産物や錫を集散してゐる。

ラムボン灣 Lampon. bay (スマトラ)
ラムボン州南端にある同名の灣。

ランダック河 Landa. (ボルネオ)
舊蘭領ボルネオ西ボルネオ州西岸カブアス河の北方を流れてゐる河、砂礫中よりダイヤモンドを産す。

ラムブン州 Lampoeng (スマトラ)
南部を占め、面積約二萬八千平

方料、人口二四萬、同州は胡椒の産出多く、茶、ゴム、コーヒーを産し首府テルツク・ベトウ港より輸出される。

ランサ港 Langsa (スマトラ)
アチエ州東北岸にある小型船のための港都。

ランカスピトウング Rangkasbitoeng (ジャバ)
西部ジャバ省バンタム州南バンタム分州の首府、セランより南方鐵道が通じてゐる。

ランタウ Rantau (ボルネオ)
舊蘭領、南東ボルネオ州パンヂェルマシシより東北百二十軒のところにある町で、人口二千である。

ランテカムボラ山 Rante Kambola (セレベス)
セレベス州西部半島ラティモヂョン山脈の最高峯、標高三、四一〇米。

ラングーン Rangoon (ビルマ)
人口四十九萬八千三百六十九名ビルマ政廳の所在地。ラングーン河を溯ること廿一哩の地點にありトワンテイ運河によりイラワヂ河に連絡してゐる。ラング

ーン=ブローム線とラングーン=マンダレー線の起點でビルマ交通の關門である。インド、ビルマを通じて人口では第四位、商港としては第三位にある。同市は紀元五八五年シユエ・ダゴン・パゴダ(金塔)が建立された年に始つてゐる。一七五五年アラウンバヤ王が一新市を興しヤン・ゴン(戦ひの終りの意)と名じた。その後間もなく東印度會社が一工場を設置し、一七九六年には「英國辦事處」が設置され股販な貿易港として人口三萬を數へたが、第一次英緬戰爭當時は衰微した。一八四一年タラワテイ王は現在のシユエ・ダゴン・パゴダの附近に舊市城の一部を移したのが現在のラングーン市である。爾來年々發達し、一九三一年には四十萬を數へ、人種言語を異にする諸種族が集つてゐる。

市は市部、舊カントンメント、臨港區の三部より成り、市部は面積二十八平方哩、商業地區は河の東及び北岸に沿つてあり、英人、印度人の企業者によつて占

められてゐる。

貿易高はカルカッタ、ボムベイに次ぎ一九三六年—一九三七年度の海上貿易總高は五百二十八萬八千餘トン(うち輸入百卅一萬餘トン、輸出三百九十四萬餘トン)入港船舶千五百七隻、四百十四萬トン餘で、ビルマ輸出入の十分の九を占め、輸入品は石炭、綿製品、金屬類、食料品、絹、機械、砂糖。輸出品は米、木材、棉花、石油。この附近でラングーン河は吃水二十八呎までの船舶の航行が可能である。同市東端のモンキー・ポイントには水上飛行場がある。

ラングーン河 Rangoon River(ビルマ)

全長一五〇哩、ブローム縣の一地點に源を發す、その上流ミトマーカはブーム、タラワテイ兩縣を貫流し、更に下つてはシユライン河と稱される。海より二十一哩の地點でラングーン市を過ぎ下流でベグー、バズンダウ兩河を合してゐる。下流にはヘイステインズ淺瀬があり汽船航行の脅威となつてゐる。

ランワ油田 Ranwa (ビルマ)

エナンヂャト油田の南方、イラワヂ河畔にあり、乾季には河中の砂洲に橋を作つて採油してゐる。一九二四年開始以來千二百六十五萬バレルを産出してゐる。深度は千七百呎でイラワヂ河底にまで伸びて採油してゐる。

りの部

リアム山 Riam (マレー)

マレー半島の高山、標高二、一八二米。

リオウ諸島 Riouw (スマトラ)

スマトラ島東側スダ海にある諸島で、リオウ州に含まれ、最大の島はピンタン島、支那人の居住者多く、商業のほか胡椒、ガムビル、サゴ・ヤシ、パイナップル栽培を行つてゐる。

リオウ州 Riouw (スマトラ)

同島中央東側にあり、インドラギリ河流域地方と附屬諸島を含み、面積三萬一六八八平方軒、

人口二九萬八千首、府はレンガットで、土人ゴムの栽培が行はれてゐる。

リガオ Ligo (比律賓)

ルソン島アルバイ州、人口二七、六七八(一九三九年)交通の便よく附近より石膏を産す。

リサル州 Rizal (比律賓)

ルソン島中央部を占む、マニラ市は同州にあり。面積二、三二八平方キロ、人口四四三、五七三(一九三九年)住民はタカログ族、交通の便よく、州都はバシタ町にあり、産物は米、砂糖、コブラ、コーヒー、織、ココア、石炭、果實、刺繍、帽子等、在留邦人五四一(一九三九年)

リスモア Lismore (濠洲)

ニューサウスウェールズ州の都市。シドニーの北北東方八百三十七キロ。製材、製糖等の工業行はれ、附近の農田から玉蜀黍砂糖、木材等を産出してゐる。人口は約一萬である

リスドン Risdon (濠洲)

タスマニヤ州の都邑。ホバート近郊。世界最大の亜鉛工場あり、水力電氣を利用して發達したが

現在では昔日の面影がない有様である。

リスガウ Lithgow (濠洲)

ニューサウスウェールズ州の都邑で、ブルーム山脈の西側にありシドニーから百五十キロ餘。風光明媚で観光客相手のホテル別荘があり、四季を通じて観光客で賑はひ、立派な観光の町を形成してゐる。人口一萬三千四百五十人(一九三七年調)同地附近から鐵、石炭を産出し精鍊所がある。西方の乾燥地帯から小麦、羊毛の收穫も相當量に上つてゐる。

リーチエス群島 Ritches Islands (インド)

アンダマンの東方海上の諸島、行政区劃は印度總督の監督下にあり。

リツテルトン Lyttelton (ニュージラント)

南島中央部東側バンダ半島の北部にある天然の良港。四周に山を繞らし、港に向つて傾斜してゐる。クライストチャーチの外港をなす。ウェリントンとの間に連絡船の便がある。カンタベ

リー地方の農畜産物の輸出港であり、雜貨の輸入港である。

リツチモンド Richmond (濠洲)

ニューサウスウェールズ州の都邑。ホークスベリー河に沿ひシドニーと鐵路六十一キロ隔ててゐる。穀物と果實産地の中心。人口は約二千である。

リツチモンド Richmond (濠洲)

ヴィクトリア州の都邑。メルボルン市の郊外住宅區、工業地でもある。人口は四萬一千である。

リツチヨ Litcho (タイ)

タイ國領マレー半島バタニー州にあり、近時砂金及び金銀の發見があり、一九三五—一三七年に五二一担の産出があつた。

リナ山 Lina (ニューギニア)

舊蘭領、西部フォールヘルコツプ半島東北部アルファツク山の南方。標高二八七〇米。

リパ Lipa (比律賓)

ルソン島バタンガス州の中央タール湖の東方にあり、人口四五、一七五(一九三九年)マニラから八十八キロ、汽車、自動車を通ず。

リフ島 Lifou (太平洋諸島)

佛領ニューカレドニア植民地の一。ロカルティ列島中最大の島で南北五〇マイル、東西二五マイル、珊瑚礁より生成せる島、人口五千四百。島の表面は赤色の土壤で蔽はれ、極めて肥沃でバナナ、タロ芋等が豊富に生育す。島には丘なく河なく全く平坦、佛國政廳が此の列島に行政を實施したときこの島が本據であつた。

リバカオ Libacao (比律賓)

比島パナイ島カビス州、人口二萬、附近より石炭を産す。

リムバン河 Limbang (ボルネオ)

ボルネオ島、舊ブルネイ王國にある河。全長約一二〇哩。

リムバカウ山 Ljmbkauh (ボルネオ)

舊英領北ボルネオの高山。標高一萬呎。

リムバン Limbang (ボルネオ)

ボルネオ島、舊ブルネイ王國リムバン河口の小港市で、嘗ては海峽汽船會社がブルネイ—ラブアン—クアラ・ベレイト間に定期配船を行つてゐた。

リラン島 Lirang (小スンダ列島)

小スンダ列島北列に属し、アロール島の東方にある島。

リーワード諸島 Leeward Islands (太平洋諸島)

ツサイエテイ諸島をみよ。

リングエン灣 Lingayen (比律賓)

ルソン島パンガシナン州北部の灣で、東にサン・フェルナンド岬、西にバリナオ半島あり。

リング諸島 Lingga (スマトラ)

リオウ州に属し、マレー半島南方のスンダ海にあり。最大島はシンケツブ島で、リオウ群島とともに屬地州をなし、首府はピントン島タンヂユンピナンにある。支那人の居住者多く、胡椒カンピル、サゴ等の栽培伐木が行れてゐる。

リンコルン Lincoln (濠洲)

南オーストラリア州、エイア半島の南端に位し、スペンサー灣の門戸をなしてゐる。人口は四千二百六十人(一九四〇年調)産業としては農牧業が比較的雨量に恵まれて發展してゐる。小麦の收穫も相當量あり、羊の飼

養も盛んである。

リンヤニ山 Rinjani (小スンダ列島)

ロムボック島の高山で、海拔三八〇〇米、マレー群島一の高峰である。

ル の 部

ルアル湖 Luar (ボルネオ)

舊蘭領、西ボルネオ州西部のカブラス河中流に位置し、土地の沈降によつてベルダ湖とともに生じたものである。

ルアペフ Ruapehu (ニューゼーランド)

北島中央部タウホ湖の東南に聳える山峰。トンガリロ、ナルホエとともに三山鼎立してゐる。山頂は爆發によつて失ひ、截頭圓錐形をなしてゐる死火山であり、高さ九、一七五メートル、北島の最高山であり、附近は温泉多く壯観を呈してゐる。

ルアンブラバン Luang Prabang (佛印)

佛印ラオス中部西方にあり、タ

イ一割譲したバリライ地方に隣する町で人口一萬五千、メコン河とナムカン河の合流點に位し風景に恵まれ、ルアンおよびブラバン兩王が居住する。佛敎の一大本山ワイマイ寺がある。

ルアン・ブラバン山脈 Luang Prabang (タイ)

タイ國の東北部にある山脈で、同國と佛領印度支那との國境を形成する。

ルイジャド群島 Louisiade arch. (太平洋諸島)

パプア東南地區、ニューギニア東南端東方ダントカスター群島東南沖合に散在する大小無数の群島で、東南地區の南半部をなす。多くの島は珊瑚礁又は周圍を堡礁で取巻かれた火山島に属し、大なるはミシマ、タグラ、ロツセルの三島である。

ルクナウ Luknow (インド)

聯合州、カルカッタから九〇〇キロ、ジムナ河岸に位し人口二四萬、聯合州の首都である。農産物の集散地であり、綿織物、絹織物刺繍物の製造が盛んで、金銀細工、象牙細工も行はれて

る。

ルシャイ高原 Lushai Hills (インド)

印緬國境バトカイ山脈の作る高原地帯。

ルソン島 Luzon (比律賓)

フィリッピン最大島、文化開け政治、交通の中心地、首府マニラあり。面積一〇五、七〇四平方キロ、人口六百八十萬、その半を占むるタカログ族(三百五十萬)がウイサヤ族とともに文化的で政治的支配力を有する。この他の住民としてビコル(六十萬)イロカノ(五十萬)パンガシナン(四十萬)バンパンガイバナグ、ザンバル、イゴロツト、テインギアン、イロンゴツト、ネグリト等の諸族がある、廿四州から成り、四、五月は酷暑、六月乃至九月は雨季となる主なる産物、米、煙草、マゲー玉蜀黍、コブラ、コーヒー、砂糖、金、鐵、マンガン等。

ルトン Lutong (ボルネオ)

ボルネオ島舊サラワク王國と舊ブルネイ王國との國境近く、ミリを距る北方五一六哩の海岸に

ある小邑、マレー石油会社の油田があり、ミリ、セリヤ両油田の原油は送油管によつてルトンの精油所に送られる。こゝで精製される石油は全英帝國の三位を占め、英東洋艦隊の給油所として知られてゐた。大東亞戦争に皇軍は十二月末同地に敵前上陸これを占領した。

ルネタ 國 Luneta (比律賓)
マニラ市南方海岸に面する芝生公園で、一八九六年比島革命の父と稱ばれるホセ・リサルがスペイン當局によつて同處で處刑され、現在リサル記念碑が同公園中央に屹立し、毎年六月十九日をリサル降誕記念日として記念祭が行はれる。

ルバン島 Luang (比律賓)
ミンドロ州にあり、北緯一三度四五、東經一二〇度一〇、周圍四五マイル、ルバン群島中最大島、同島西北方にルバン町あり人口八、九六三人(一九三九)

ルバツクサリ Labaksari (ジャワ)

バスルアン州アンジャモロ山とカワイ山の間谷間にあり冷泉

がある。別名ウイルヘルミナ浴場

ルブリングウ Loboeklinggau (スマトラ)

パレンバン州ムシ河上流奥地の町。

ルボンノ (スマトラ)

ベンツレン州ムシ河上流クマウン河上流にある金銀所在地で、金より銀を多く出す。ルボンとは銀山の意。

ルマタン河 Lematang (スマトラ)

パレンバン州ムシ河上流の河で外輪船の舟運あり、石炭、石油輸送をする。支流エニム河がある。

ルマヂヤン Loema'jang (ジャワ)

東部ジャワ省オーストフツク(東端)ブスキ州附近の平野は原始林が開拓され沼澤を干し、急速に開け人口稠密な中部ジャワから移住があつた。ルマヂヤングよりラムビプーサへ新開拓地を横断して輕鐵が通じてゐる。

ルムバン Rembang (ジャワ)

中部ジャワ省ルムバン州西岸の

港で海運貿易は多くない。

ルムウト島 Lumut (マレー)

マレー半島西海岸にある島。

ルルツ島 Ruruts Is (太平洋諸島)

佛領ツブアイ諸島(アウストラン群島)の一。

ルンバン Lembang (ジャワ)

西部ジャワ省ブレアングル州バンドン市の北方十一哩メンクバン・ブラフー山の山麓にあり、南半球最大の直徑二四インチの二重屈折望遠鏡を有するボツサ天文臺の所在地であるとともに海拔四千五呎の高地で避暑地として長期保養の客が多い。

ルンガツト Rengat (スマトラ)

リオウ州首府インドラギリ河に臨みゴム、サゴ、ガ、ンピルをシンガポールに輸出する。

レの部

レイアテア島 Raiatea (太平洋諸島)

佛領、リサイユテイ諸島中の一島嶼。

レイテ島 Leyte Island (比律賓)

北緯一〇度一一度三四、東經一二四度一六一一二五度一六。面積七、二四九平方キロ(比島第八位の大島)人口八十萬、麻椰子、硫黄、米、玉蜀黍、烟草バナナ、パイナップル、木材等物産多し。

バナオン、ピリラン、マリビビ等の諸島よりレイテ州を構成す。同州面積七、七八三平方キロ、氣候は概して溫和で、地味肥沃、在留邦人七八人(一九三九年)。レイテ島西北にレイテ町あり人口一八、八七〇(一九三九年)

レイテ州 Leyte (比律賓)

比島レイテ島とその附近の小島嶼より成る、面積七、七八三平方キロ。人口九一六、〇六七(一九三九)住民は主として基督教徒たるヴィサヤ族、氣候は健康に適し地味肥沃である。産物は麻のほか米、玉蜀黍、椰子、烟草、バナナ、パイナップル、パパヤ、ニツバ、家畜、石炭、金を産す。在留邦人七八人(一九三九年)

レヴカ港 Levuca (太平洋諸島)
 英植民地フィジー諸島中の一島
 オバウ島の要港で、グイテイレ
 ヴ島のスバ港と共に全フィジー
 諸島の物産の集散地となつてあ
 る。スバ港が今日の隆盛を見る
 に至る前はフィジー諸島の首都
 であつた。

レーヴンズウッド Ravenswood
 (濠洲)
 タインスランド州ケンネヂーの
 都邑。タウンズヴィル クロン
 カーリー鐵道の支線が通じてあ
 る。タウンズヴィルと百二十六
 キロ隔つてゐる。金産地の中心
 地。人口は二千餘である。

レオン Leon (比律賓)
 比島パナイ島イロイロ州にあり
 人口二〇、八〇〇(一九三九年)
 附近に岩鹽を産す。

レガスピ Legaspi (比律賓)
 ルソン島アルバイ州、人口四一、
 五二五(一九三九年)麻の集散
 地で貿易が行はれる。マニラか
 ら汽車、汽船の便がある。

レジヤング・レボン Rejang-Le-
 bong (スマトラ)
 ベンクルン州南部地方でレジヤ

ング族がある。

レジヤン河 Rejang (ボルネオ)
 舊サラワク王国の最大河、全長
 三六〇哩、東部國境分水山脈デ
 イベン山に發源西南流して同國
 を二分して海に入る。河口から
 八十哩まで川幅約半哩、水深は
 二百哩まで四・五哩であるため
 小汽船は本流を百六十哩遡江可
 能である。河口近くで五川に分
 岐しそのデルタ地帯だけでも三
 千平方哩、本支流の流域三萬平
 方哩に上り、經濟、交通上重要
 な河川で、同國の經濟動脈と言
 はれる。上流地帯には鐵礦を産
 出する。

レジヤンレボン地方 Rejang Le-
 bong (スマトラ)
 ベンクルン州にベンクルン
 附近にあり、金および銀を産出
 する。單にレボン地方とも稱す
 る。

レゾリュミオン灣 Resolution
 Bay (太平洋諸島)
 佛領マルケサス群島中のヌファ
 テ島西岸の要港。

レダン島 Redang (マレー)
 マレー半島北部東海岸にある島



クレータ

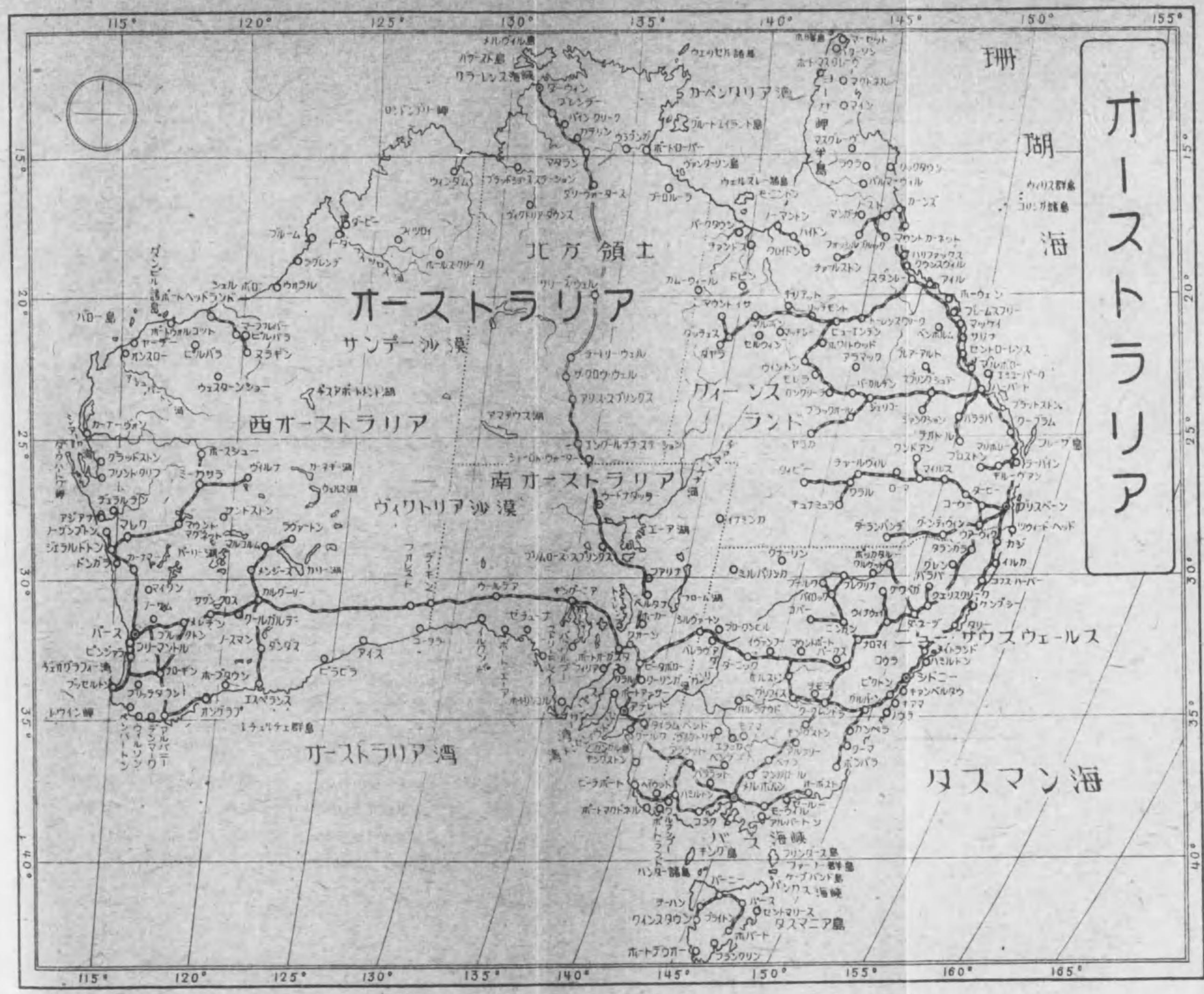
シゲ族がある。

レジヤン河 Rejang (ボルネオ)
 昔サアワク王国の最大河、全長三六〇哩、東部國境分水山脈チイベン山に發源西南流して同國を二分して海に入る。河口から八十哩まで川幅約半哩、水深は二百哩まで四・五哩であるため小汽船は本流を百六十哩溯江可能である。河口近くで五川に分岐しそのデルタ地帯だけでも三千平方哩、本支流の流域三萬平方哩に上り、經濟、交通上重要な河川で、同國の經濟動脈と言はれる。上流地帯には鐵礦を産出する。

レジヤンレボン地方 Redjang Lebong (スマトラ)
 ベンクーレン州にベンクーレン附近にあり、金および銀を産出する。單にレボン地方とも稱する。

レゾリューション灣 Resolution Bay (太平洋諸島)
 佛領マルケサス群島中のタフアチ島西岸の要港。

レダン島 Rejang (マレー)
 マレー半島北部東海岸にある島



オーストラリア

レヂヤング火山群 Redjang (スマトラ)

ベンクレン州東南部の火山群。

レフロイ湖 Lefroy Lake (濠洲)

西オーストラリヤ州の西部高原上にあり、カールグルリーの南東に位する河跡湖である。往時気候温良雨量に恵まれた時代には他の湖沼とともに河川であったが、爾後乾涸して遺跡に湛水し名残を止めてゐるのである。

レボン地方 Lebong dis (スマトラ)

レジャンシボンの項参照。

レムロ河 Lemro (ビルマ)

アラカン地方のアキヤブ縣の河流。カラダン河とともに船舶の航行が可能で、内地交通の要道である。

レレ港 Lələ (太平洋諸島)

我委任統治領クサイエ島の東岸にある要港で、港の北側にレレ島がある。一名シヤブロール港といふ。

レヌア島 Lenua 別名 Egg (太平洋諸島)

ハワイ諸島中ニイハウ島の北方沖にある無人の一島嶼名。

聯合州 United Provinces (インド)

ガンダス平原の中央部知事州、面積二九一、六九六平方キロ、人口四九、六一四萬八千、首都アラハバード。

レンガツト Rengat (スマトラ)

リオウ州の首府にしてインテラギリ河に臨む港。

レンヤ河 Lenya R. (ビルマ)

テナセリム地方メルグキー縣を流れる河名。

レンマルク Barmark (濠洲)

南オーストラリヤ州南東部の河港。マレー河の右岸に沿ひ、人工灌溉によつてマレー河の水を利用し果實の栽培に努め英國に輸出し、好評を得てゐた。人口は約三千である。

レンジヤニ火山 Rendjani (小スンダ列島)

小スンダ列島ロンボック島北部にある活火山。標高三、七六〇米。

レンギ Rengit (マレー)

マレー半島ジョホール州西部の小邑。大東亞戦争に際し、皇軍マレー部隊は昭和十七年一月廿六日同地を占領した。

レンネル島 Rennell Is. (太平洋諸島)

ソロモン群島の最南端でグアダルキナルの南方百マイルの海上にある。長さ五十マイル、幅六乃至十二マイル、此島は隆起珊瑚島の世界的標本で全島珊瑚石灰石より成つてゐる。島内湖は幅六マイル、長さ廿マイルある。

レンバン州 Rembang (ジャワ)
ヤバラ・レンバン州ともいふ。中部ジャワ省に属する理事州で面積六千平方軒、人口一八七萬六千、首都はレンバンである。

ロ、の 部

ロアポア島又は**ウアポア島** Roapoa Is. (太平洋諸島)

佛領マーケサス群島中の一島、タフアタ島の西方五十八マイルに當る。ロアポア島のジャノヴィス港は同群島での有数の良港である。

ロイ・カウ Loikaw (ビルマ)
カレンニ土侯國中最大の都、英國の領務官が駐在してゐる。

ロイ・マイ山 Loi Mai Mt. (ビルマ)

メネータウン山脈中の高峰で八千呎。

ロイモー山 Loi Mo Mt. (ビルマ)

メネータウン山脈中の高峰で八千呎。

ロイモイ Loi Mwe (ビルマ)

シヤン聯邦南シヤン州ケンドン土侯國にあり、軍事警察隊が駐屯してゐる。ロイモイは霧の丘の意味。

ロイヤル・レイクス Royal Lakes (ビルマ)

ランゲーン、ダルホウズイー公園にあり、一八五二年に作られた人口湖である。

ローカン河 Lokan (ボルネオ)

舊英領、北ボルネオのキナバタンガン河の支流。

ロカン河 Rokan (スマトラ)

東海岸州を流れマラツカ海峽に注ぐ河。

ロクタク湖 Loktak Lake (インド)

印緬國境マニプール高原中の大湖。

ロコン山 Lokon M. (セレベス)

ミナハサ地方メナド南方の火山標高一五九二米。水蒸氣を吐く。

ロコアヴァ Rokoava (太平洋諸島)

佛領太平洋植民地パウモト群島の行政中心地でフアカラヴァ島の首都である。

ロサリオ Rosario (比律賓)

ルソン島バタンガス州にあり、人口三四、一三〇(一九三九年)

ロス島 Ross Island (インド)

南アンダマン島ポート・ブレア港の入口にある江の如き美しい小島である。

ロス島 Ross Island (ビルマ)

メルグキー群島中の一島。

ローセウマウエ港 Lhoksumawe (スマトラ)

アチエ州東北岸にある港都。

ロソツブ環礁 Lossop (太平洋諸島)

我委任統治領カロリン群島に含まれる礁で、トラツク島に近いこの中にビス、タラツブ、レオールの三島がある。

ロタ島 Rota (太平洋諸島)

我委任統治領マリアナ諸島最南

端で面積百十四平方キロ、島型は南に突端を持つ不邊四角形であり、島の東、西側は岩礁で囲まれ、南西側のサンサイハンヤ灣北東風を回避できる。マリアナ諸島中植物が最もより繁茂する。九段の段丘から成りサバナの段丘も最も高く附近は礫地サバナ高地から流れる潮流は上水道の源をなす。

ロツト港 Lot (太平洋諸島)

我南洋委任統治領南東岸の港。

ロツクストン Lockston (濠洲)

南オーストラリア州マレー河下流域に位する。南オーストラリアの小麥の大部分はこの附近から生産されてをり、ロツクストンはその中心地である。又牧羊も盛んに行はれてゐる。

ロツトネスト島 Rottne: Island (濠洲)

西オーストラリア州の島地。フリーマントルの北西二十一キロの海上にあり、南緯三十一度五十八分西オーストラリア州政廳の夏季出張所所在地。

ロツマ島 Rot:ma Is. or Gremville Is. (太平洋諸島)

フレンド諸島西北に當る英領
フィジー諸島中の一島であり、
ヴァヌア・レヴ島の北二百廿哩
に當り、面積僅か十四平方マイ
ル、人口二千七百、火山岩より
成る島であるが、熱帯太平洋諸
島中最も教化された順良な島民
がをり、同島が英領フィジー諸
島に屬するやうになつたのは一
八八〇年以來のことであるが、
バンドン號船長エドワルドの發
見といはれる。英領植民地とな
るや醫術を心得た英人島守とな
り、島民の間にはキリスト教が
廣く信ぜられてゐる。

ロツテイン港 Lottin (太平洋諸
島)

我南洋委任統治領クサイエ島南
側にある小港であるが、水深あ
りよく遮蔽されてゐる。

ロツコン (タイ)

六昆。ナコン・シータマラート
の項参照。

ロツテルダム島 Rotterdam Is.
(太平洋諸島)

英保護領トンガ群島中の一
で、一六四三年來航せるタスマ
ンの命名といふ。アナムコ島を

みよ。

ロツカ火山 V. Rokka (小スンダ
列島)

小スンダ列島フローレス島の活
火山標高二四二〇米。

ロツクハンプトン Rockhampton
(濠洲)

クインズランド州の北方、東部
海岸に臨んでゐるブリスベーン
の北西方六百七十キロ。人口三
萬四千六百九十六人(一九三九
年調)フィツロイ河に跨り、交通
の要衝で、東部海岸鐵道と東部
諸高地横斷鐵道の分岐點、マウ
ントモルガン鑛山の門戸である
附近の牧場に數千萬頭の牧牛を
飼養し、大屠殺場がある。貿易
としては銀、金、銅、石炭等を
輸出し、機械織物を輸入する。

ロツセル島 Rossel Is. (太平洋諸
島)

バブア東南部、ルイジアード群
島東端の島、東西約廿マイル、
南北の幅員平均七マイル、山地
多く最高峰は海拔二千七百五十
呎のロツセル山である。

ロテイ島 Rotti (小スンダ列島)

小スンダ列島チモール島西の島

で、面積一六九一方軒、マンガ
ン、沃素の産出あるほか石油の
埋藏が見込まれてゐる。

ロードハウエ諸島 Lord Howe
(太平洋諸島)

一六一六年蘭人レ・マイヤ及ツ
ユハウランが発見したもので、
イサベル島北方百六十マイルの
環礁諸島で、島民はポリネシヤ
系である。同諸島の珊瑚礁は特
に廣大なもので、礁内への入口
は非常に曲りくねつてゐる。島
状は細長い狭い帯状で古々椰子
を除けば食糧物は何も産せず。

ロトルア湖 Rotorua Lake (ニュ
ージーランド)

北島の湖沼で南緯三十八度に位
し、タラウエラ山と三十二キロ
を隔て、タウポ湖の北東にあり、
タウポ盆地中にある。附近に温
泉が多く。火山湖で、湖中に圓
錐形の小島が孤立してゐる。

ロトルア Rotorua (ニュージ
ーランド)

北島、東北部南緯三十八度 東經
百七十六度十五分、オークラン
ド港の南東二百七十一キロ。ロ
トルア湖(面積三十二平方マイ

ル)に面する温泉地として名高
い。市街は政府が直營し管理し
てゐる。氣候良好で四時浴客絶
えず、避暑、避寒の地として著
名。温泉治療所ある。附近にオ
ヒネマツ、ワカレワレハ等の温
泉の湧出頗る多く、湖水にも恵
まれマオリ人の遺跡名所多し。

ロードホーウエー島 Lord Howe
Island (濠洲)

濠洲ニューサウスウエールズ州
の屬島で、本島の住民は凡てニ
ューサウスウエールズ州に納税
の義務を加せられてゐる

人口は約百五十人、面積は十三
平方キロ(長さ七哩、巾一哩半)
この島は草木繁茂し、相當廣大
な地味肥沃な可耕地があり、氣
候は温暖で雨量も多い。鳥類の
數も非常に多い。

東北方のアドミラルティ岩礁は
海鳥の巢である。島内にカワー
山とリツジバード山の二つの山
がある。主要物産はケンテイヤ
バームの實であり、毎年數百ケ
ツシエル海外各地に輸出してゐ
る。本島の土人は誕生と同時に
ケンテイバームを財産として親

から分配される習慣がある。

ロフブリ Lophuri (タイ)
タイ國の中部アユチャの北方メナム河流域にある歴史的都市。曾て支那人によつて砂金の採取が行はれたが現在は振はない。

ローブツツピ火山 Lobe Tobbi M. (小スンダ列島)
小スンダ列島フローレス島北岸フローレス海峡に臨む活火山で標高二一七〇米。

ロマ島 Roma (小スンダ列島)
小スンダ列島南西諸島に属し硫氣孔を有する火山がある。

ロヤルティ諸島 Loyalty (太平洋諸島)
佛領ニューカレドニア島の東方六十マイル、面積八〇〇平方マイル。人口一、一〇〇。産物としてコブラ、ゴムも少量産出す。ワフ、ウグエア、マレ、ハンターなどから成る女護の島。男子の数が甚だ少い。玉蜀黍は一年を通じて實を結ぶ。

ローレンツ河 Lorentz R. (ニューギニア)
舊蘭南部ウイルヘミナ山に源を發し西南に流れアラフラ海に注

ぐ。河でウイルヘミナ山探險の通路に當り、最近砂金が發見された。

ロンピン河 Rompin (マレー)
マレー半島パハン州の小河。

ロンシエン Long-xuyen (佛印)
佛印交趾支那の一州、面積二千七百平方キロ、人口二十六萬三千。

ロンブロン州 Romblon (比律賓)
比島ミンドロ島東方のタアラス、シブヤン、ロンブロン等の諸島から成り、面積一、三〇八平方キロ、人口九八、九六九 (一九三九年) 住民はヴィサヤのほかネグリティ、マンガヤン等の小數がある。麻、椰子、玉蜀黍、金、大理石等を産す。

ローン Loon (比律賓)
比島ボホール島西岸、人口二八、〇八九 (一九三九年) セブ島、アルカオに海底電線を通ず。

ローンストーン Launston (濠洲)
タスマニヤ洲の首都。ポート・デヴオン南東百二十九キロ。タマル河沿岸。附近には豊沃な果樹園あり、マウント・ピスチヨツフ嶺山の精鍊所あり、商業

盛んで、シドニー、メルボルンとの取引が多い。音楽、美術、機械等の専門學校がある。人口は約二萬五千である。

ロングリーチ Longreach (濠洲)
クインズランド州の都邑。トムソン河沿岸。ロツクハンブトンの西方六百八十九キロ。トムソン及びバルクー兩地方牧畜地の中心地、人口二千五百餘である。

ロンブレ島 Lombren (小スンダ列島)
小スンダ列島北列に属し、フローレス島とアロール島の間にある島。

ロンボツク島 Lombok (小スンダ列島)
小スンダ列島バリ島の東の島で面積四六、九二平方軒、人口は約五萬人、地味豊にして米、玉蜀黍、甘藷、大薯、豆類、甘蔗類草が栽培されるほか乾燥森林サヴアナ等があるので水牛、牛馬の牧畜が特に盛んで畜類は輸出される。

ロンボバタン山 Lompobata'ng (セレベス)
セレベス州南西部半島南部の死

火山、標高三〇四〇米。

ロンベバイ湖 Rombebai L. (ニューギニア)

舊蘭領、北部マンベライモ河中流にある湖、不健康地で附近に住民がゐない。

ローン島 Roon Is. (ニューギニア)

舊蘭領西部フェールフィンク灣西岸ワアンダンメン半島の北方の島、西岸にエンア村があり教會が置れてゐる。

ロンベルバイ湖 Rombelbai L. (ニューギニア)

舊蘭領北部マンベライモ河上流約三〇哩の奥地にある湖。

ロンキティ港 Ronkiti (太平洋諸島)

我が南洋委任統治領ボナベ島の南西端の良港。

ワの部

ワ州 Wa States (ビルマ)

北シアン州、サルウィン河の左岸一帯の地域で、同州には首府

を好むといはれるワー族が住んでゐる。未開の地で近年世に知られるようになった。支那との國境紛争も屢々行はれた所である。

ワア—ウイツク Warwicks (濠洲)

タインスランド州の首都ブリスベーンの西南方約百キロの地點にあり、ヴィクトリア州の境の町である。氣候は温帯に屬し良好である。人口は七千人(一九三九年調)温帯好氣候と雨量に恵まれて、羊が重要産業の一つとなつてをり、小麦の製産も多い。

ワインコツツ Wijnkoops B. (ジャワ)

西部ジャワ省ブレアングル州スカブミ西方にある灣。

ワイラケ Wailake (ニュージーランド)

北島東部にトルアの西南約五十マイルの地點に位する著名な温泉地。

ワインガブ Waingapoe (小スンダ列島)

小スンダ列島スンバ島北岸にあ

る港で、ジャワへの馬、水牛の輸出港である。

ワイタナイ河 Waitanai (ニュージーランド)

南島の河川。クック氷河に源を發するタスマン源を源流とし、數多の河湖の水を包容しカンタベリー灣に注ぐ。上流湖水地方にはマツケンジー平野が横はり下流は舟運に適する。流程百三十五マイル。

ワイサムソン河 Wai Samson (ニューギニア)

舊蘭領西方フォーヘルコツツ半島北西部にある河で、同河流域はオランダ人探險隊により西ニューギニア唯一の農耕地と發表された。

ワイヒ Waihi (ニュージーランド)

北島東部の都邑。オヒネムリ地方の東部。鐵道によつてテームス及びオークランドと連絡してゐる。銀山として著名である人口は約七千である。

ワイゲオ島 Waigeo Is. (ニューギニア)

舊蘭領フォーヘルコツツ半島西

北にある島で、人口稀薄、木材海産物を産する。南岸のサオネタが港になつてゐる。

ワイロア Wairoa (ニュージーランド)

北島中央東海岸フォーク灣に臨む。

ネーピアとギスボン間の要地。ワイカレモアナ湖への道路の分岐點。

ワイタンギ Waitangi (ニュージーランド)

北島オークランドの北方に位する小都市。ワイタンギ條約を締結した土地で歴史的に名高い。

ワイカト河 Waikato River (ニュージーランド)

北島中央部山間より發してタウポ湖に注ぎ西北に流れてタスマン海に排水する。流程二百二十哩でニュージーランド最大の河川であり沿岸には、マオリの古戰場が多く、多くの乳牛飼育牧場が多い。發電にも利用されてゐる。

タウポ湖より上流四十キロを隔てた同河畔二軒間は温泉地帯である。下流は大汽船を通じ、小

舟は二百キロの上流まで溯航することが出来る。

ワイカト地方 Waikato District (ニュージーランド)

北島北部ワイカト河沿岸ハミルトンを中心とする地方で、地味肥沃で、最も集約的な牧草栽培法によつて乳牛を飼育せる地方である。乳製品の主産地である。

ワイトモ洞 Waitomo Cave (ニュージーランド)

北島北部ハミルトン西南二十五マイル、鍾乳洞がある。

ワイカレモアナ湖 Waikare Moana Lake (ニュージーランド)

北島東部の山中にある湖で、景勝の地として名高い。面積は二十一平方マイル。

ワウ Wau (太平洋諸島)

東北ニューギニア、モロビー地區モロビー州金産地の中心で行政官吏駐在するほか金鑛會社、病院、百貨店あり。電話、電燈の設備もある。

ブロー川に沿ひ海拔三千五百呎、飛行基地ラエから五十マイ

ル距る。

ワカチブ湖 Wakatipu Lake (ニュージーランド)

南島西南部、南アルプス連峰中の湖で、面積は一〇二平方マイルである。

河川状をなし、南島中最大且最深のもので鐵道が南方カメルタウンから同湖の南岸キングストーンに通じてゐる。同湖の北部一帯には壯麗な景觀の地が多い。アーンストラウ山の氷河懸り、湖口のキングストーン、と湖畔のクインスタンには避暑客が群がる。

ワカタネ Whakatane (ニュージーランド)

北島東部海岸ブレンティ湾に面する要衝。

附近一帯の農産、畜産物の集散地。またバルブ工場もある。

ワクデ島 Wakie Is. (ニューギニア)

舊蘭領北部マンベラモ河東方約八〇哩にあり K.P.M 汽船定期寄航地。

ワシントン島 Washington Is. (太平洋諸島)

ワシントン島は英國直轄地クリスマス諸島中の一島で、周圍九マイルあるが土着住民なく、土地はすべてフアニング會社の所有であり、ギルバート島民を使つてココアの栽培を行つてゐる島の西端に簡單な錨地がある。

ワジリスタン Wazirista (インド)

アフガニスタンとの國境地方でアフリナ族が主として住んでゐる。西、北兩區に分れ面積前者は六九九三平方キロ、後者は五九、五七平方キロ。

ワジラバード Wazirabad (インド)

パンジアーブ州。

チェナブ河畔にあり造船、鐵工業が盛んで、人口一萬七千。

ワシル島 Wasir P. (小スンダ列島)

マル諸島に屬し北西の小島。

ワシ Wasi (ニューギニア)

舊蘭領西方マクノワリ郊外十軒混血兒の移民地。

ワタムボネ Watampone (セレベス)

セレベス州南西半島東岸舊ボネ

領の首府、別名ボネ。

ワツガ・ワツガ Wagga Wagga (濠洲)

ニューサウスウェールズ州の中央低地にあり、マールムピツジー河に沿ひ、シドニーより五百キロ隔て、アルバーニー市の北北東百十三キロに位する。人口一萬二千五百三十人。

農業の中心地で、小麦の栽培地として有名であり、牧羊業も盛んである。

ワテス Wates (ジャワ)

チョクヂヤカルタ州チョクヂヤカルタ西方にある高山。

ワトウ河 Watoo R. (ジャワ)

ソロ河支流、マダイワン河とも云ふ同項参照。

ワドワン Wadhwan (インド)

ボムベイ州の藩王國その首都名。藩部は六一一平方キロ、人口三萬一千である。

同市は人口一萬五千、鐵道の連絡點にあたる。

ワナカ湖 Wanaka Lake (ニュージーランド)

南島中央部南アルプス連峰中にあり、長さ五十六キロ。東方の

ハウエア湖とともにクリエンダ河を養つてゐる。風光明麗なる湖。面積七十五平方マイル。

ワボガ河 Wapoga (ニューギニア)

蘭領フェールフィンク灣東岸に注ぐ河。

ワマル島 Wanar B. (小スンダ列島)

アル諸島ウオカン島の西にある小島でドボ港がある。

ワラウエ・ガンガ Walawe-Ganga (セイロン)

セイロン島中央高地に源を發し南岸アンバラントタで印度洋にそそぐ。

ワラタ Waratah (濠洲)

タスマニヤ島北西方にある。小都市。同島北西部のローンストンの西方百四十五キロにあるマウント・ビシヨツフ錫山の都市であつて、同鎮山とは一キロ半を隔てて同山系一帯の中心地をなしてゐる。

人口は約三千人。

ワラウエリー洞窟 Warrawerrie Cav. (濠洲)

西オーストラリヤ州の南西端に

- 近くある石灰洞窟である。
- ワリラウ島** Warilaos P. (小スンダ列島)
アル諸島に属する北端の小島。
- ワリングン河** Waringin (ボルネオ)
ボルネオ島南部を流れる河。
- ワルサ** Warsa (ニューギニア)
フェールフィンク湾口ピアツク島東北岸で鐵木の輸出港。
- ワルナウブール** Warnaubool (濠洲)
ヴィクトリア洲の一都市でギエロンの西方に位しメルボルン市から鐵道で二百六十七キロ、を隔てた地點にあり、良港である。人口九千二百五十人(一九三九年調)
産物としては市の背後に農産地をひかへ小麦、牛酪、羊毛等を産出、主要輸出品としては穀物、(小麦、燕麥、麥粉)金、羊毛がある。
- ワルポール島** Walpole Is. (太平洋諸島)
ニューカレドニアの首都ヌメヤ市の南東百五十四マイル、平坦な石灰岩で出来た島で、デアノ

- が豊富である。島の面積は三〇エーカー、定住民はないがデアノ探掘人夫が居住し、年一萬鎊のデアノを採掘する。クルボール湾は水深あり、船は同湾内の埠頭より離れたアイに繫留され、平底船により積卸しする。
- ワローラ** Warora (インド)
中央州にあり。
鐵礦の産地として有名。
- ワンガル河** Wanggar R. (ニューギニア)
舊蘭領フェールフィンク湾南岸の河同河流域は適耕地であり南洋興發がタマールを採取してゐる。
- ワンダメン地方** Wandammen (ニューギニア)
舊蘭領フェールフィンク湾南にある。ワンダメン湾沿岸地方奥地を總稱する。面積約一萬五千町歩、ココ椰子、サゴの産地。
- ワンダメン灣** Wandammen (ニューギニア)
舊蘭領フェールフィンク湾南部より北方へ突出するワンダメン半島西方に出来てゐる灣。
- ワンガヌイ** Wanganui (ニュー

- ジーランド)
北島西南海岸に面しワンガヌイ河の河口に臨む。ウエリントンとは鐵路二百十六キロ。
ワンガヌイ地方物資の集散地。牛、羊、穀物、羊毛を輸出する。美術館、博物館等あり遊覽地としても名高い。
人口は二萬六千人(一九三八年調)
- ワンガヌイ河** Wanganui River (ニューランド)
北島中央部山地より南流してクツク海峡に注ぐ、河口にワンガヌイあり、ニュージーランドのライン河とてその景色の佳勝を稱され、四時遊覽客多く、流程、百四十マイル。

ンの部

- ンガタン** Ngantang (ジャワ)
バスマン州西部クルート山方北の谷間にありコント水力發電所所在しマラング、スラバヤへ電燈、電力を供給する。
- ンガンヂユツク** Ngandjoek (ジ

- ヤワ)
東部ジャワ省クテイリ州北西境スラバヤスラカルタ國鐵線に沿ふ都邑。
- ンガウイ** Ngawi (ジャワ)
東部ジャワ省マデイウン州西部ソロ河に沿ふ町でソロ河は相當の舟運がある。
- ンゲベル湖** Ngebei L. (ジャワ)
東部ジャワ省マウティン州東境にあるウイリスリ西方山腹の火口湖で灌漑に利用される。

南洋事情研究会
 都河龍
 早稻田印刷所
 日本出版配給株式會社
 株式會社 婦女界社

出文協承認 7 60603 號



昭和十七年七月十日印刷
 昭和十七年七月二十日發行
 (5000部)

—南方地名辭典—

◎ 定價 三圓

著 者 南洋事情研究会
 發行者 都 河 龍
 東京市麹町區九段四丁目十三番地
 印刷所 早 稻 田 印 刷 所
 東京市牛込區早稻田鶴卷町三六二
 配給元 日本出版配給株式會社
 東京市神田區紙路町二丁目九番地

發 行 所 株式會社 婦 女 界 社
 東京市麹町區九段四丁目十三番地
 會員番號 一 二 八 五 一 八
 振 替 東 京 二 九 三 七 番
 電 話 九 段 四 一 七 一 (三) 番

K-30-48

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

LIBRARY

— 1930 —

CHICAGO, ILL.

1930

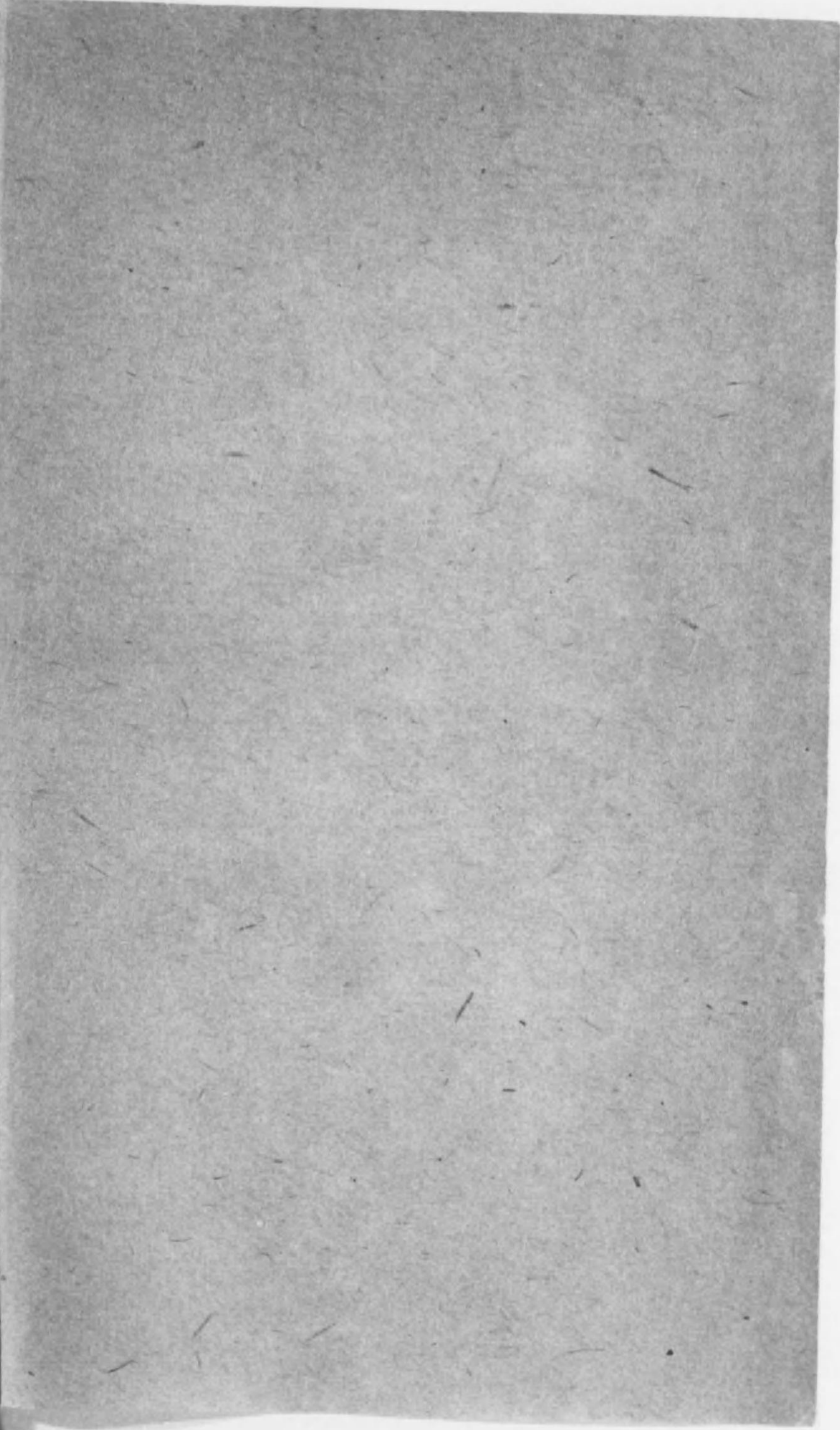
THE UNIVERSITY OF CHICAGO

LIBRARY

— 1930 —

CHICAGO, ILL.

1930



R292. 3-N48㉿



1200500766678

R292.3
N48

終